



赤城山景観ガイドライン 別冊 標準看板編

令和8年度（2026年度）
赤城山デザイン協議会

本書が目指すもの

本書は、「赤城山景観ガイドライン」（令和6年度 赤城山デザイン協議会策定）の別冊として、同ガイドライン対象範囲内に看板等を設置する際に推奨される共通基準や標準的な看板のデザイン例をまとめたものです。

本書の内容を踏まえ、自然景観と調和した看板等により来訪者へ適切な誘導や案内を行うことで、「赤城山景観ガイドライン」の理念や方策の実現を目指します。

本書が目指すもの	—02
1 理念と方策	—03
1-1 「赤城山景観ガイドライン」の理念と方策	—04
1-2 5つのポイント	—05
2 共通の基準	—07
2-1 上位計画・参照条例	—08
2-2 素材	—12
2-3 色彩	—14
2-4 文字の大きさ	—15
2-5 書体	—16
2-6 ピクトグラム	—18
2-7 表記	—20

3 標準看板デザイン例	—21
3-1 看板の種類	—22
3-2-1 自立看板	—25
3-2-2 集合看板	—29
3-2-3 注意看板	—35
3-2-4 トイレ看板	—38
3-2-5 矢羽誘導看板	—41
3-2-6 入口看板	—44
3-2-7 駐車場看板	—47
3-2-8 工事中標示板及び補助標示板	—50
3-2-9 自動販売機	—53
3-2-10 簡易表示板	—54
コラム——簡易表示板の作り方	—59
さいごに	—60



理念と方策

1-1 「赤城山景観ガイドライン」の理念と方策

1-2 5つのポイント

1-1 「赤城山景観ガイドライン」の理念と方策

基本理念

Akagi Well-Viewing

赤城山の景観の価値は、日々違った表情を見せる美しい自然にあります。「赤城山景観ガイドライン」では、自然とともにある景観が、自然に敬意を払い、世界中の来訪者に誇ることができる、将来にわたって継承すべき景観となることを目指すとともに、「質の高い景観体験」により赤城山の価値をつくり、自立した地域経済を実現することなどの効果も期待しています。

来訪者への誘導、案内、注意喚起、PRなど、目に留まりやすいものとなる必要のある看板が、自然景観の中にある人工景観の中で果たす役割は小さくありません。一方で、建築物や工作物と比べて、更新のコストが少なく、手をつけやすいものでもあります。

エリアの中の看板をあるべき姿にすることで、赤城山景観ガイドラインの目指す景観へ一歩近づけることができるでしょう。

基本方策

1. 「らしさを守る」

赤城山らしさを、長くあり続けてきたもの、これからもあり続けるであろう独自の景観的特徴と捉えます。赤城山の変化に富んだ自然景観など「らしさ」の起点となるものたちを魅力的に見せるために、エリア内の看板は、必要以上に華美なものや、見せたいものよりも目立つものにしないことが大切です。

2. 「地」をつくる

自然の中で、木や土や石など面積が大きく変化が少ない景観の「地」をつくる要素と、草花や動物など小さく変化や動きに富んだ景観の「図」となる要素。赤城山の中での看板は、景観の「地」をつくる、景観の基調となる要素と捉えることで、移ろう自然や人々の営みなどが魅力的に映える景観をつくることができます。

3. 「まとまり」で演出する

関係者の中で赤城山の魅力や価値を共有し、「まとまり」として演出を行うことで、エリア全体の価値を向上することができます。看板の数や高さ、色などを「個」として競い合うのではなく、「群」として揃えてまとまり感のある景観をつくることで、エリア全体の価値を向上させることができます。



見せたい景観の中で目立ってしまっている工事用看板



景観の「地」をつくる要素と、景観の「図」となる要素



「黒川温泉」での演出事例。黒川温泉観光旅館協同組合提供

看板をつくる前に

看板を更新する際、または新設する際、**事前に、本当にその場所に必要なものかどうかを検討**することをお勧めします。

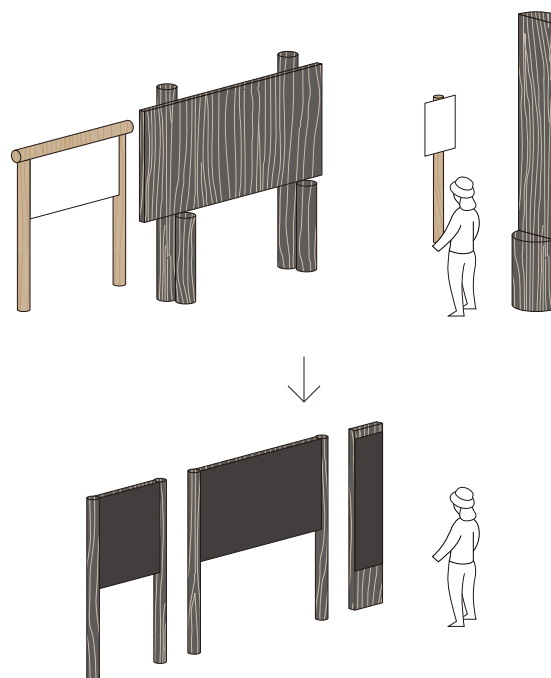
一度掲出した情報を取り下げることは、新たに作ることもより難しく、必然的に看板は増えていく傾向にあります。看板の数を一つでも減らすことで、人工物や文字情報が減少し、自然景観が際立つことにつながるため、赤城山の魅力をより感じてもらいやすくなります。

上記を踏まえたうえでも、自然保護、安全性の確保、経済活動の観点等で設置が必要な場合には、後述の「5つのポイント」の考え方に則り、配置、素材、形態、色などを検討することで、赤城山にとって良好な景観をつくることができます。

なお、本書に記載されている内容はあくまで例であり、設置場所や寸法、素材の考え方など、その場に応じた適正な対応が必要となります。

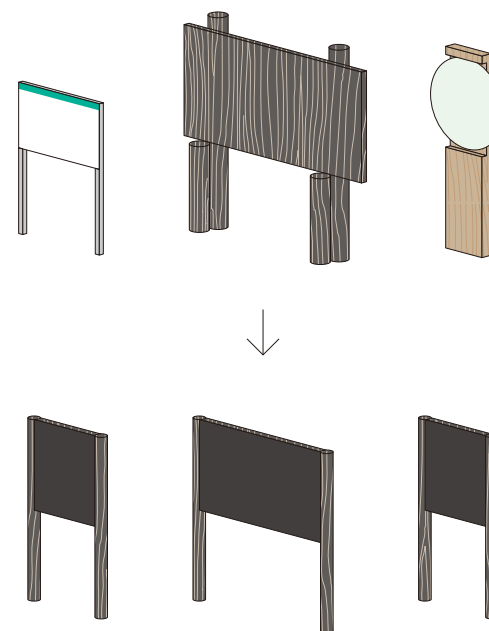
1. 配置を揃える

隣合う看板や近くにある看板は視認性を考慮した上で、できる限り設置する位置、向き、高さ、隙間などを揃えることでまとまりをつくり整然と見えます。重複した情報やバラバラに並んでしまった看板はまとめることで、情報も集約されて見やすく効果的に情報を得ることができます。



2. 素材・形態を揃える

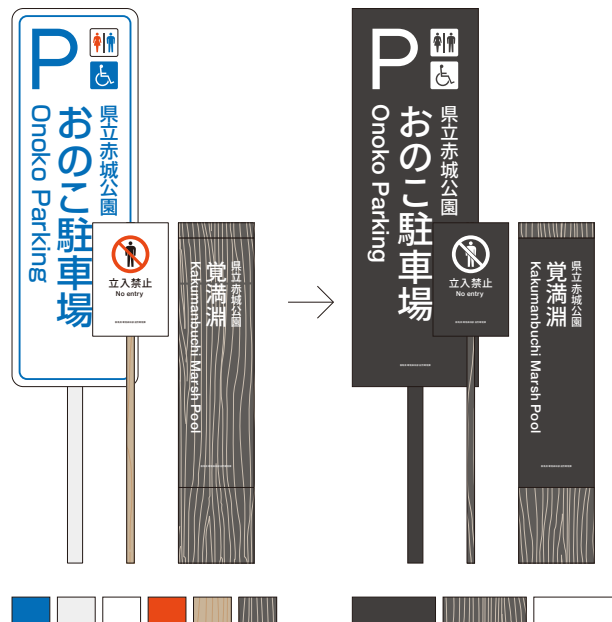
新しい看板が、既存の看板よりも個性的で目立つ必要は必ずしもないと考えます。長くその場所にある素材や形には相応の理由があるかもしれません。既存の看板にデザインを寄せて継承するか、古い看板は整理して新しいデザインに一新するか。本来見せたい景観を守るための公平な判断が必要です。



1-2 5つのポイント

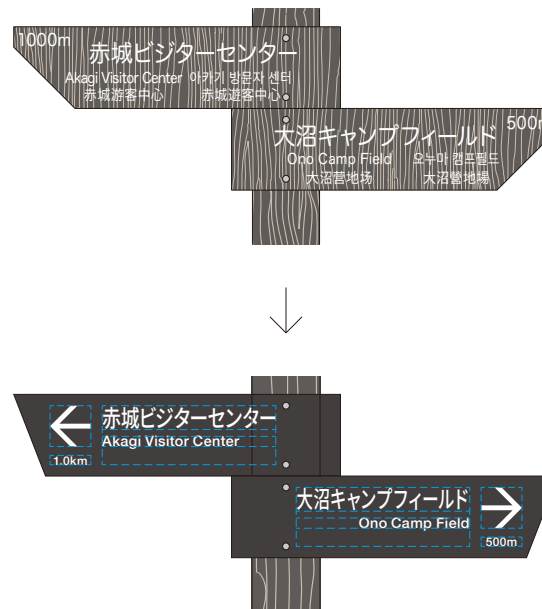
3. 色を揃える

看板によって表示ベースや文字の色が違うと、雑然とした印象になってしまいます。また、色数の多い表示や、過度に鮮やかな色の表示は、自然景観の中で意図せず目立ち、煩雑で読み取りづらくなりがちです。ベースの色を揃え、色数を絞ることで、見せたい情報を見やすくすることができます。



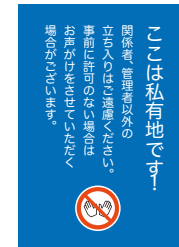
4. 表示を揃える

適切なマージン(余白の領域)を設定した上で、右揃え、中央揃え、左揃えなど、表示にルールを与えると、美しく整然としたデザインとなります。ピクトグラムや見出しなどの同じ要素は同じ配置や大きさとして、文字の間隔や行間を揃えること、日本語と外国語やピクトグラムと文字などの関係を揃えることも重要です。



5. 情報を揃える

施設名称が場所によって違ったり、内容は同じなのに違うピクトグラムが使われていたりすると、情報を読み解くのに時間がかかったり、混乱を招いたりする恐れがあります。ゆらぎがしやすい地名、施設名称、翻訳、注意書きの口調など、表記は可能な限り揃えていくことで、まとまりのある印象となります。



2

共通の基準

- 2-1 上位計画・参照条例
- 2-2 素材
- 2-3 色彩
- 2-4 文字の大きさ
- 2-5 書体
- 2-6 ピクトグラム
- 2-7 表記

2-1 上位計画・参照条例

赤城山で看板を設置する際、関係する上位計画、参照条例と基準の一部を紹介します。設置を検討する際には必ず確認、または行政機関にご相談ください。

なお、本書へ掲載している標準看板の寸法、デザインなどは、これらに準ずる形となっています。

赤城山景観ガイドライン

- 赤城山エリアの景観について、建築物、工作物、外構、車両施設、眺望などを対象として、エリアごとにデザインコードを設定しています。広告物についても、色彩、素材、エリアごとの配置の注意、眺望への配慮などのデザインコードが設定されています。

前橋市 屋外広告物条例／屋外広告物の手引き

- 前橋市では、「禁止屋外広告物」（いかなる場合においても表示することができない屋外広告物）、「禁止物件」（適用除外のものを除いて屋外広告物を表示することができない物件）が設定されています。
- 赤城山エリアの一部の道路及び保安林は、「禁止区域」（適用除外のものを除いて屋外広告物を表示できない地域又は場所）、その他の地域は「第一種許可地域」に設定されています。それぞれ種類ごとに設定された基準があります。

● 赤城山景観ガイドライン

広告物に関するデザインコード（一部抜粋）

●…全てのエリア共通 ●…賑わいエリア ●…回遊エリア ●…保全エリア

- エリア内のサインは、自然素材や景観に配慮した色や素材で可能な限り統一する
- サインは歩行者の主要な動線に合わせる、重複した内容のものを立てないなど、計画的に行うことが望ましい
- 建築物の外壁や建築物前の広告物の数、面積、高さをできるだけ抑え、歩行者にとって効果的に配置する
- 建築物のガラス面を埋めるような貼り紙は可能な限り避ける
- 広告物のベースとなる色、高さ、書体、設置場所などは周辺から大きく逸脱しないよう努める
- 歴史的に重要な建築物や地域のシンボルとなる建築物は、周辺の広告物の過度な設置を避け、歩行者にとって効果的に配置する
- 道路の標識や看板などは、茶系の表示として、推奨色をベースとし、裏側、柱、金具の色も同色が望ましい
- サインのベースは木製など、周囲と調和する自然素材のものとし、金属やコンクリートなどの人工素材は極力避けるか、推奨色を使用することが望ましい
- 山道入口のサインは配置や高さを揃えるなどして整理するよう努める

● 前橋市 屋外広告物条例／屋外広告物の手引き

禁止屋外広告物

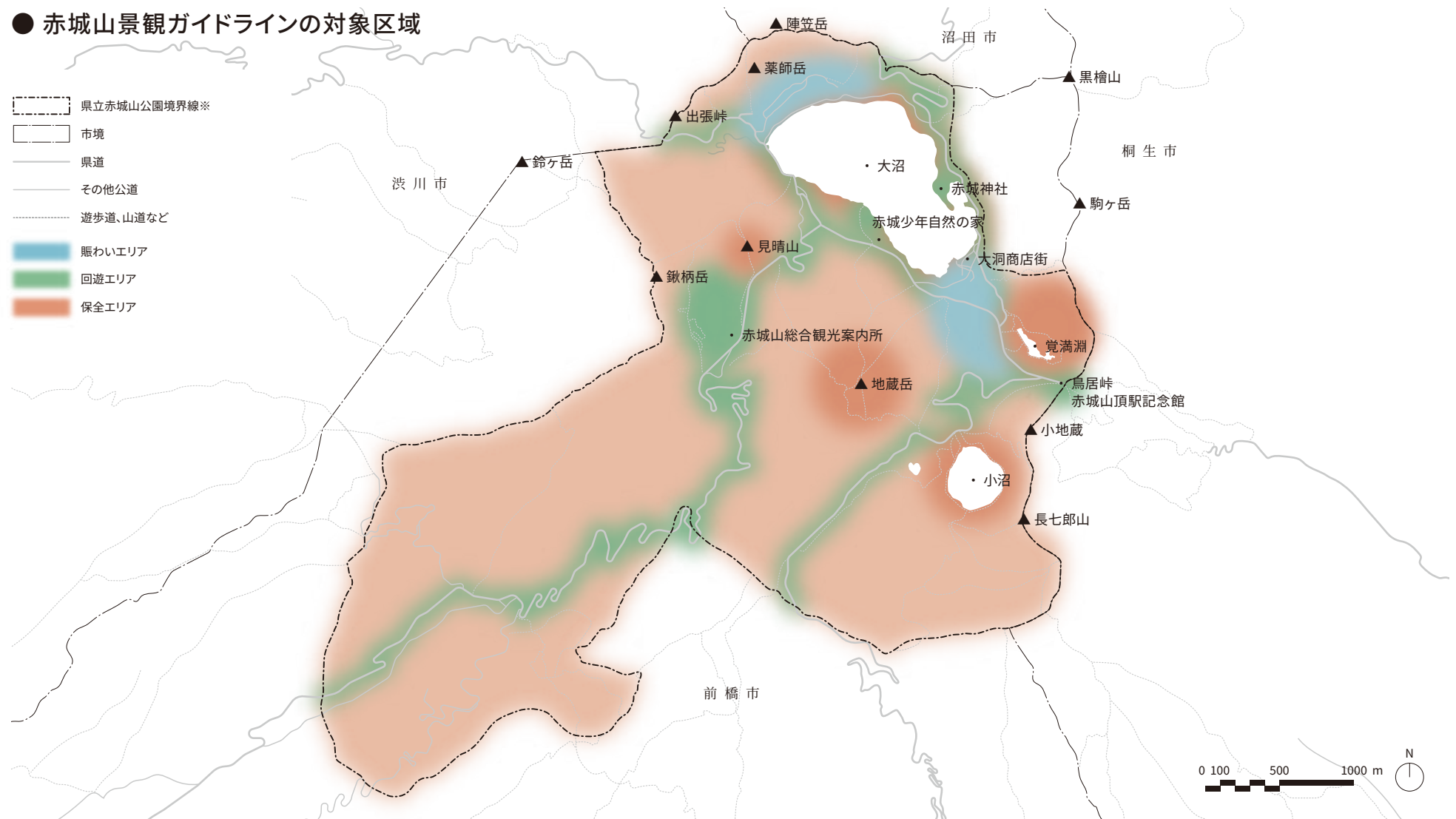
- (1) 著しく汚損し、退色し、又は塗料等のはく離したもの
- (2) 著しく破損し、又は老朽化したもの
- (3) 蛍光塗料や反射板などを使用するもの
- (4) 倒壊又は落下のおそれのあるもの
- (5) 信号機、道路標識、道路工事用標識等に類似、又はこれらの効果を妨げるおそれのあるもの
- (6) 道路交通の安全を阻害するおそれのあるもの

禁止物件（一部適用除外あり）

- (1) 次の物件には、原則として屋外広告物を表示することはできません。
① 橋りょう、トンネル、高架構造物及び分離帯 ② 石垣、擁壁 ③ 街路樹、路傍樹、保存樹 ④ 信号機、道路標識、カーブミラー、ガードレール又は歩道さく、こま止め、里程標 ⑤ 消火栓、火災報知機、火の見やぐら ⑥ 郵便差出箱、信書便差出箱、電話ボックス、路上変電塔 ⑦ 送電塔、送受信塔、照明塔 ⑧ 煙突、ガスタンク、水道タンク ⑨ 銅像、神仏像、記念碑 ⑩ 景観重要建造物、景観重要樹木 ⑪ 道路の路面
- (2) 電柱及び街灯柱には、はり紙、はり札、広告旗、立看板を表示することはできません。

2-1 上位計画・参照条例

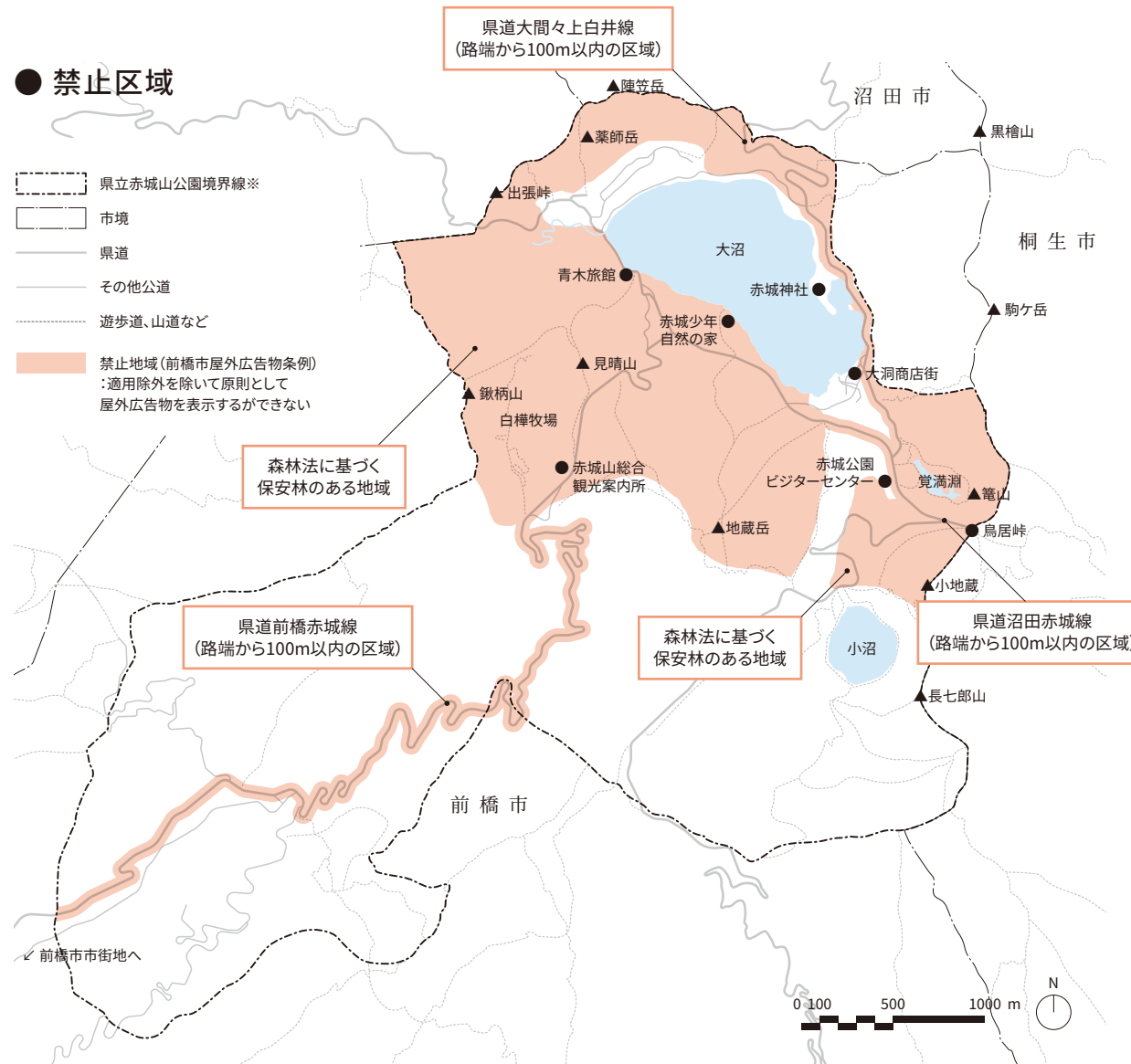
● 赤城山景観ガイドラインの対象区域



※公園境界線内には、公園に含まれない民有地も存在しています。

2-1 上位計画・参照条例

● 禁止区域



適用除外（禁止地域において表示することができる屋外広告物
（一部抜粋））

区分	表示面積等	その他条件
自家広告物※	表示面積合計10㎡以下	- 建築物等の屋上以外の場所に設置するものであること - 光源の点滅がないこと - 第一種許可地域における当該自家広告物に適用される基準に適合していること
非自家広告物※(案内広告物)	(案内誘導広告物) - 表示面積1面2㎡以下、合計4㎡以下 - 複数の案内表示を一つの掲出物件に集合させて表示する場合は表示面積1面10㎡以下、合計20㎡以下(ただし一つの目的地の案内表示は1面2㎡以下、合計4㎡以下) - 高さ5m以下 1目的地につき3個以下	- 施設や場所への誘導を目的としていること - 施設又は場所の名称、方向、距離を表示し、これらの記載が主たる表示内容であること - 表示場所は建築物の屋上以外の場所であること - 光源の点滅がないこと - 案内誘導広告物の許可基準に適合していること
	(案内図板) - 表示面積15㎡以下(ただし、表示面数は1面のみ) - 高さ5m以下	- 地図、路線図又は鳥かん図を表示するものであること - 表示場所は建築物の屋上以外の場所であること - 光源の点滅がないこと - 案内図板の許可基準に適合していること

※公園境界線内には、公園に含まれない民有地も存在しています。※自家広告物：自己の氏名、名称、店名若しくは商標又は自己の事業若しくは営業の内容を広告するため、自己の住所又は事業所、営業所その他自己の営業の用に供する物件若しくは敷地に表示し、又は設置する屋外広告物等。※非自家広告物：自家広告物以外の屋外広告物。※案内広告物：非自家広告物の一種で、特定の施設や場所への案内誘導を目的とした案内誘導広告物と、主に公共団体や公共の団体が設置する地図、路線図、鳥かみ図などの案内図板に区分されます。

2-1 上位計画・参照条例

前橋市 ネーミングライツ導入に関するガイドライン／ネーミングライツ愛称の屋外広告物掲出に関するお願い

- 施設にネーミングライツを導入している場合、ロゴマーク、企業名称（または企業の代名詞といえるサービス名称）、施設名称の表示に関する基準があります。

群馬県 路上工事等の安全施設設置要領

- 路上工事用標示板及び補助標示板については、群馬県が独自で設けている基準があります。
- 安全に関わる標示板（工事予告標示板、矢印版）は定められた様式のままとし、本書では補助標示板等の工事内容の周知を目的とする看板のみ取扱います。

● 前橋市 ネーミングライツ導入に関するガイドライン／ネーミングライツ愛称の屋外広告物掲出に関するお願い

定義（一部抜粋）

ネーミングライツとは、市が設置する施設又は市が実施する事業の愛称として、ネーミングライツスポンサーの企業名や商品名等を付与させる代わりに、当該スポンサーからその対価を得て、当該市有施設等の管理運営や利用者のサービス向上を図る制度です。

屋外広告物（ネーミングライツ愛称）の表示ルールについて（一部抜粋）

- 原則、施設名称として屋外広告物に表示可能な文言及びデザイン等は広告審査委員会で承認されたネーミングライツ愛称及びロゴマーク（1種類）に限ることとします。
- 表示の基本ルール：「企業名称＋施設名称」または「企業の代名詞といえるサービス名称＋施設名称」
- 企業名称、サービス名称等と施設名称の文字の大きさは同等か施設名称のほうを大きく表示してください。
- ロゴマーク等も含める場合は、企業名称と商標（ロゴマーク等）を施設名称と同等か小さく表示すること。（サービス名称の表記の際も同様に扱う）

● 群馬県 路上工事等の安全施設設置要領

路上工事用補助標示板（一部抜粋）

- 補助標示板は、地域住民や歩行者等に対して説明責任を果たし、群馬県が発注する工事と一目で分かるようにするため、下記の様式で定められたことを記入しなければならない。また、工事内容を判りやすく説明するため、イラスト等の説明図を標示するよう努めなければならない。
- 補助標示板の様式は、以下のとおりとする。
様式・種類・寸法：表4に示すとおりとする。色彩：様式集に示すとおりとする。文字サイズ・間隔：様式集に示すとおりとする。
工事内容標示：地域住民や歩行者等が分かりやすいような表示とする。「ぐんまちゃん」パターン：様式集に示すとおりとする。
ただし、景観配慮地域において、ガイドライン等で様式が定められている場合、当該ガイドラインによるものとする。
- 補助標示板は、原則として全ての工事で設置することとする。ただし、管内一円工事、移動規制等を行う工事、1日で完了するような簡易な工事は、その限りでない。また、景観配慮地域において、ガイドライン等で様式が定められており、工事中標示板と記載内容が同等である場合は、設置不要とする。
- 設置箇所については、地域住民や歩行者等の視認性を配慮し、安全に見ることのできる場所を選定し、設置するものとする。

2-2 素材

- 看板の素材は天然木、金属類（スチール、ステンレス、アルミ複合板などを含む）、または双方を組み合わせたものを推奨します。
- 天然木の看板は赤城山では多く使用されており、赤城山らしさを表現できる一方で、劣化しやすい特徴があります。金属類の看板は高い強度と耐候性があり、色や表示面の調整が容易ですが、木と比べて都市的な印象を与えます。
- 天然木、金属、出力シートなど素材にかかわらず、表示ベースや柱、背面などは推奨色（19-30A）とすることが望ましいです。
- 天然木を使用する場合は、木の質感を生かした含浸系の保護塗料（キシラデコール等）を塗布した上で、推奨色に近づけることを推奨します。
- 屋外で使用する場合は防腐処理、防錆処理など耐候性、耐久性をあげる加工を施し、塗装の塗り替えやシートの貼り替えなど適切な管理を行ってください。

● 天然木の看板



景観性、意匠性



- 赤城山で多く使用され赤城山らしさを表現
- あたたかな素材感や自然な経年による変化があり、景観に馴染む

耐候性、耐久性



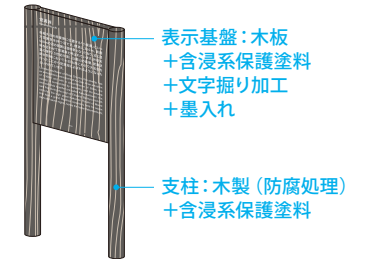
- 劣化しやすいため、定期的な素材の交換や保護塗料の再塗装が必要

表示の見やすさ



- 木への文字表示で掘り加工や墨入れを行う場合、サイズや書体などに制約がある

例



● 金属類の看板



- 屋外看板の素材として一般的で、木と比べて都市的な印象
- 金属は素地で使用せず塗装など推奨



- 耐久性、耐候性、強度が強く、木などの自然素材と比べてメンテナンス頻度は低い



- 出力シート貼や直刷と組み合わせて見やすく製作しやすく、自由度が高い表示ができる



● 天然木（柱、基盤、躯体など）+ 金属類（表示面）の看板



- 看板の柱や躯体の一部に木を用いることで、赤城山らしさを表現できる。



- 木を用いる場所を限定することで、メンテナンス頻度を減らすことができる



- 出力シート貼や直刷と組み合わせて見やすく製作しやすく、自由度が高い表示ができる



2-2 素材

- 木や金属以外にも赤城山の中で看板として使用されている素材はいくつかあります。

● その他の素材

● 石（本書では扱わない）



- 木と同様に自然素材で景観に馴染む。
- 屋外での耐久性や耐候性が高い。一般的に塗装などは行わず、メンテナンスがほぼ不要。
- 表示面の自由度は低く、製作にコストがかかる。
- 重量感や高級感がある印象を与えるため、史跡関連など局所的に使用する。

● 紙類



- 出力した用紙をそのまま屋外へ掲出できないので、ラミネート加工やフレームに入れるなどする必要がある。
- 安価で自作可能であるが、劣化が早いので、一時的で緊急性の高い表示に限られる。
- テープで壁面に貼り付けられたり、ロープやワイヤーで木の幹にくくって設置すると、美観をそこねてしまう場合があるため、注意が必要です。

2-3 色彩

- 色彩はエリア内の景観の「地」をつくり、まとまりを演出する上で非常に重要な要素です。
- 赤城山の自然景観の中で基調色となっている石や土、木の幹や枝などの色にみられる、YR(黄赤)～Y(黄)の色相、中・低明度、低彩度の特徴を踏まえ、赤城山では建築、屋根、工作物、サイン、ファニチャーなどへ使用する推奨色が設定されています。※1
- 看板の表示ベースや柱、背面は「19-30A※2」を推奨します。区別が必要なトイレ看板の表示ベース色は男女それぞれ推奨色を設定します。
- 安全上他と区別が必要な場合などは状況に応じて見やすい色を使用してください。

- 自家用看板などで使用する色は規定しませんが、彩度の高い色(鮮やかな色)、特に鮮やかなB(青)、BP(青紫)、P(紫)色相の色は、自然景観に馴染まない色になるため、使用することを推奨しません。もし使用する場合も、大きな面積での使用は控えること、彩度はできるだけ低くすることを推奨します。

● 赤城山の看板の基調色



19-30A (10YR 3.0/0.5)
表示ベース色、柱、背面など、もしくは表示ベースが白っぽい場合の表示色



白(指定なし)
表示ベース色が黒っぽい場合の表示色



黒(指定なし)
表示ベース色が白っぽい場合の表示色



09-40L (10R 6.0/6.0)
女性トイレの表示ベース色



55-30L (5BG 3.0/6.0)
男性トイレの表示ベース色

● その他の推奨色(「赤城山景観ガイドライン」より)



25-70A (5Y 7.0/0.5)
工作物



19-60B (10YR 6.0/1.0)
工作物



09-40L (10R 6.0/6.0)
サイン、ファニチャーのアクセント



12-30H (2.5YR 3.0/4.0)
サイン、ファニチャーのアクセント



- (10YR 6.0/6.0)
サイン、ファニチャーのアクセント



29-60H (10Y 6.0/4.0)
サイン、ファニチャーのアクセント

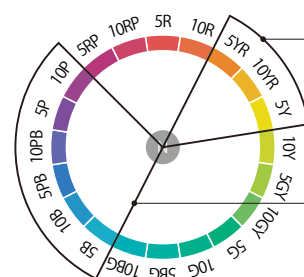


- (5GY 4.0/4.0)
サイン、ファニチャーのアクセント



55-30L (5BG 3.0/6.0)
サイン、ファニチャーのアクセント

● 推奨しない色



YR(黄赤)～Y(黄)系
赤城山景観の「地の色」
＝看板の基調色

×B(青)～P(紫)系
赤城山景観に馴染まない色
＝看板には推奨しない色

×NG例：



B(青)～P(紫)系で
過度に鮮やかな色の表示や
大きな面積での表示は
推奨しません。

※1：詳細は「赤城山景観ガイドライン」を参照してください。※2：日塗料より。国土交通省「景観に配慮した道路付属物等の整備ガイドライン」の推奨色のひとつ。

2-4 文字の大きさ

- 文字の大きさは視認する距離に対する文字高で設定します。
- 書体によって同じ級数でも大きさが違う場合があるので必ず文字高（縦書きの場合は文字幅）での設定、確認を行ってください。

● 文字の大きさの目安（「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン」より）

視距離	和文文字高	欧文文字高
30mの場合	120mm以上	90mm以上
20mの場合	80mm以上	60mm以上
10mの場合	40mm以上	30mm以上
4～5mの場合	20mm以上	15mm以上
1～2mの場合	9mm以上	7mm以上

視距離10mの場合：文字高40mm（源ノ角ゴシック M 120pt）

赤坂

視距離1～2mの場合：文字高9mm（源ノ角ゴシック M 25pt）

赤城山の美しい景観

- 和文の文字サイズに対して、欧文、その他の言語の文字サイズは50%を基本とします。
- ※ただし、地図の中での文字など欧文、その他の言語の文字サイズが小さくなりすぎる場合には、適宜調整します。

● 和文の文字サイズに対する欧文、その他の言語の文字高

赤城

Akagi

아카기

2-5 書体

- 和文書体はスタンダードで読みやすい角ゴシック体を基本としてください。
- 案内、誘導表示として角ゴシック体以外の表示は避けてください。
※ただし、自家用看板などの広告物や店舗、施設ごとに定めるイメージがある場合はその限りではありません。
- 特記のない場合、カーニングは「メトリクス」、トラッキングは「0」、文字の変形は避けてください。
※ただし、文字が盤面に収まらない場合は60%を限度として長体または平体処理をすることができます。

- 和文書体例：源ノ角ゴシック M

自然豊かな赤城山の景観
レンゲツツジが見頃です

- 和文書体例：ヒラギノ角ゴシック W6

自然豊かな赤城山の景観
レンゲツツジが見頃です

- 和文書体例：新ゴ M

自然豊かな赤城山の景観
レンゲツツジが見頃です

- × NG例：丸ゴシック体

自然豊かな赤城山の景観
レンゲツツジが見頃です

- × NG例：筆文字書体

自然豊かな赤城山の景観
レンゲツツジが見頃です

- × NG例：ポップ体

自然豊かな赤城山の景観
レンゲツツジが見頃です

- × NG例：文字の変形

自然豊かな赤城山の景観
レンゲツツジが見頃です

2-5 書体

- 欧文書体はサンセリフ体を基本としてください。
欧文、中国語書体、韓国語書体は和文の書体と似ているものを選ぶことが望ましいです。
- 外国語表記は必須ではありませんが、主要施設の誘導や案内、多くの外国人来訪者の利用が想定される施設等については、日英表記を行うことが望ましいです。その他、明確なターゲット層がいる場合は、対象者に応じた表記（例：日英中韓の4ヶ国表記）を行うことも問題ありません。
- ローマ字表記はヘボン式とします。
- 中国語を表記する場合は原則簡体のみとします。

- 欧文書体例：Helvetica Neue Medium

Akagi Tourist Information

- 欧文書体例：DIN 2014 Demi

Akagi Tourist Information

- 欧文書体例：Gill Sans Nova Medium

Akagi Tourist Information

- 中国語書例：源ノ角ゴシック M

赤城山旅游信息

- 韓国語書例：源ノ角ゴシック M

아카기산 관광정보

- × NG例：セリフ体

Akagi Tourist Information

- × NG例：スクリプト体

Akagi Tourist Information

- × NG例：文字の変形

Akagi Tourist Information

- × NG例：和文と合わない書体

赤城山旅游信息

- × NG例：和文と合わない書体

아카기산 관광정보

2-6 ピクトグラム

- ピクトグラムは原則としてJIS案内用図記号を用いてください。

● ピクトグラム例 (JIS案内用図記号より)



- 適応するピクトグラムがない場合は組み合わせるなどして変更することは可能ですが、煩雑になることを避けるため、できるだけ独自のものは作らないようにしてください。
- 新たにピクトグラムを組み合わせたり、設定したりする場合、同じ意味のものを複数種類使用しないください。

● 組み合わせ例



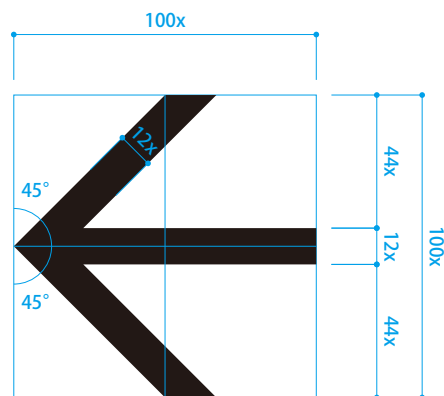
× NG例: 同じ意味のものを複数種類表示する



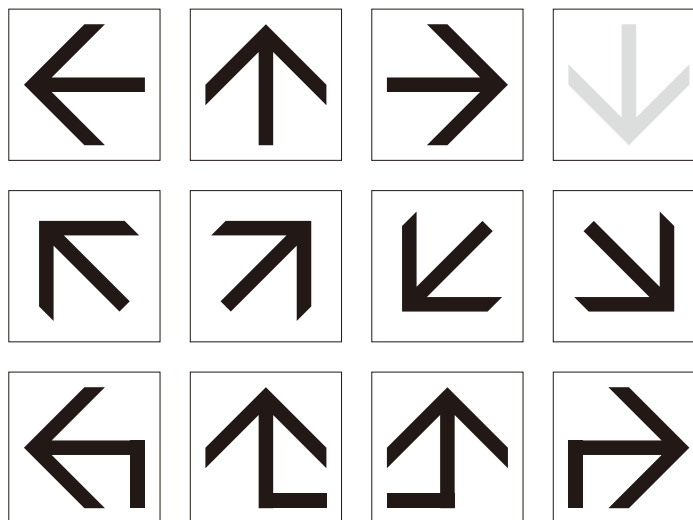
2-6 ピクトグラム

- 矢印、駐車場看板に用いる「P」ピクトグラムは、となりあう文字とのレイアウトを考慮し、右記のものをを使用することを推奨します。

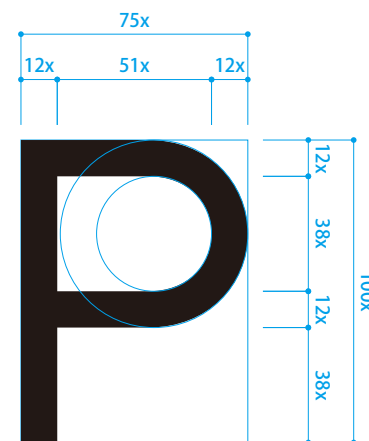
● 矢印



×原則、下向きの矢印は誘導として使用しない



● 駐車場



2-7 表記

- ・混乱を避けるために、原則として施設名や注意書きの文言などは一貫した表記を行ってください。

〔日本語表記の基準〕

- ・原則として国文法、現代かなづかいによる表記とします。ただし、固有名詞などはこの限りではありません。
- ・表示面の煩雑化を防ぐために、明確に理解される範囲内で、部分的に省略してください。
- ・正式名称よりも理解されやすい通称や愛称がある場合はそれを用いてください。
- ・ネーミングライツ導入施設の表記については、「前橋市 ネーミングライツ愛称の屋外広告物掲出に関するお願い」を参照してください。

〔外国語表記の基準〕

- ・原則として日英表記としてください。その他、明確なターゲット層がいる場合は、対象者に応じた表記（例：日英中韓の4ヶ国表記）を行うことも問題ありません。
- ・ローマ字表記はヘボン式とします。
- ・中国語を表記する場合は原則簡体のみとします。

● 表記の具体例

日本語の表記	英語の表記	備考
群馬県立赤城公園 →県立赤城公園	Gunma Prefectural Akagi Park →Akagi Prefectural Park	・施設名は明確に理解される範囲で省略します。ただし、類似の名称があり混乱する場合は正式名称とします。
前橋市赤城少年自然の家 →赤城少年自然の家	Maebashi City Akagi Youth Nature Center →Akagi Youth Nature Center	
総合観光案内所 →赤城山総合観光案内所	Tourist Information →Mt. Akagi Tourist Information Center	
大沼	Ono Lake Onoko →Onuma または Lake Onuma	・「大沼」「小沼」は古くから「おの」「この」とも呼ばれてきましたが、一般的に周知されている名称である「おおぬま」「こぬま」で統一します。
小沼	Kono Lake Konoko →Konuma または Lake Konuma	
覚満淵	Kakumanbuchi →Kakumanbuchi Marsh Pool	・自然地や橋などの施設名称は、特別な取り決めがない場合、国土交通省「地名等の英語表記規程」に準ずることとします。（※3） ・山の名称の英語表記は、標準的には「○○山」＝「Mt.○○」となります（置換方式）。ただし、地形を表す部分の直前に助字のある場合は「○○ヶ岳」＝「Mt.○○gatake」となります（追加方式）。（※3）
啄木鳥橋	Kitsutsukibashi Kitutuki Bridge →Kitsutsuki Bridge	
黒檜山	Kurobi Mountain Mt. Kurobisan →Mt. Kurobi	・英語表記は、外国人が読んでイメージのしやすく、できるだけ簡潔でわかりやすい翻訳を採用するようにしてください。
駒ヶ岳	Komagatake Mountain Mt. Komaga →Mt. Komagatake	
大洞商店街	Daido Shotengai →Daido Shopping Street	
登山口	Climbing Route Entrance →Trailhead	
関東ふれあいの道	Kanto Fureai-no-michi →Greater Tokyo Area Nature Trail	

※3：詳細は、国土交通省「地名等の英語表記規程」を参照してください。

3

標準看板デザイン例

3-1 看板の種類

3-2-1 自立看板

3-2-2 集合看板

3-2-3 注意看板

3-2-4 トイレ看板

3-2-5 矢羽誘導看板

3-2-6 入口看板

3-2-7 駐車場看板

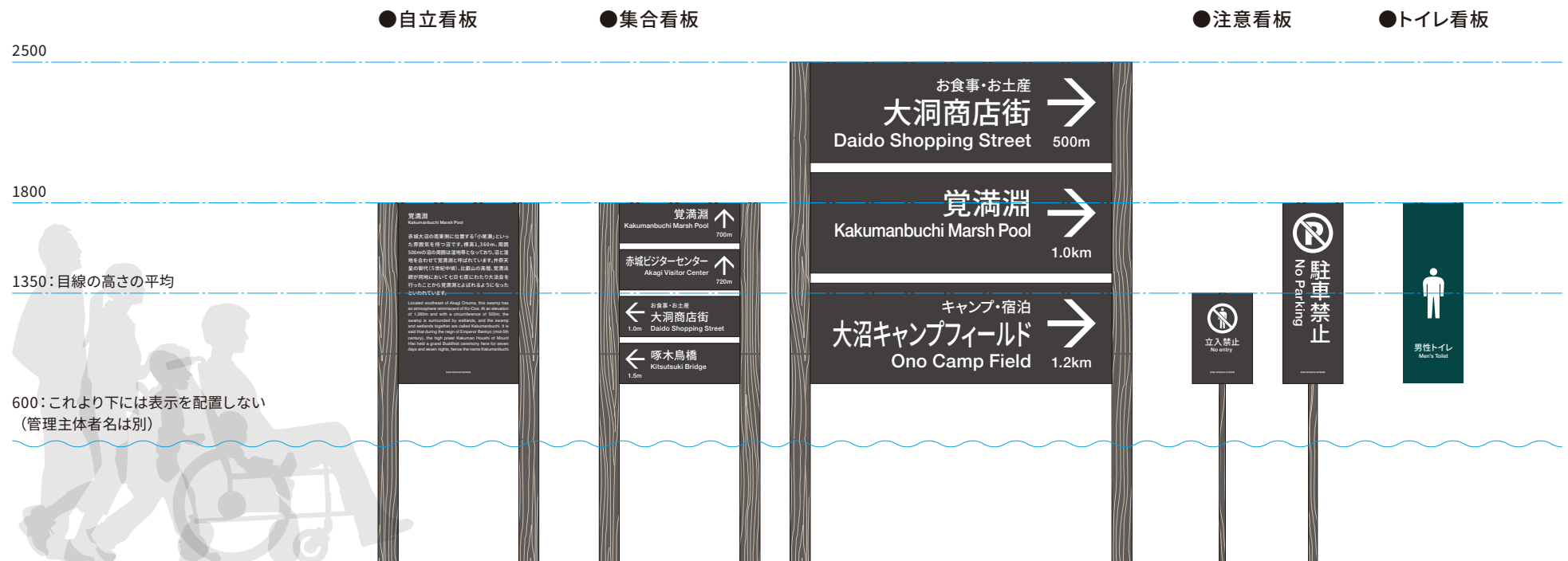
3-2-8 工事中標示板及び補助標示板

3-2-9 自動販売機

3-2-10 簡易表示板

3-1 看板の種類

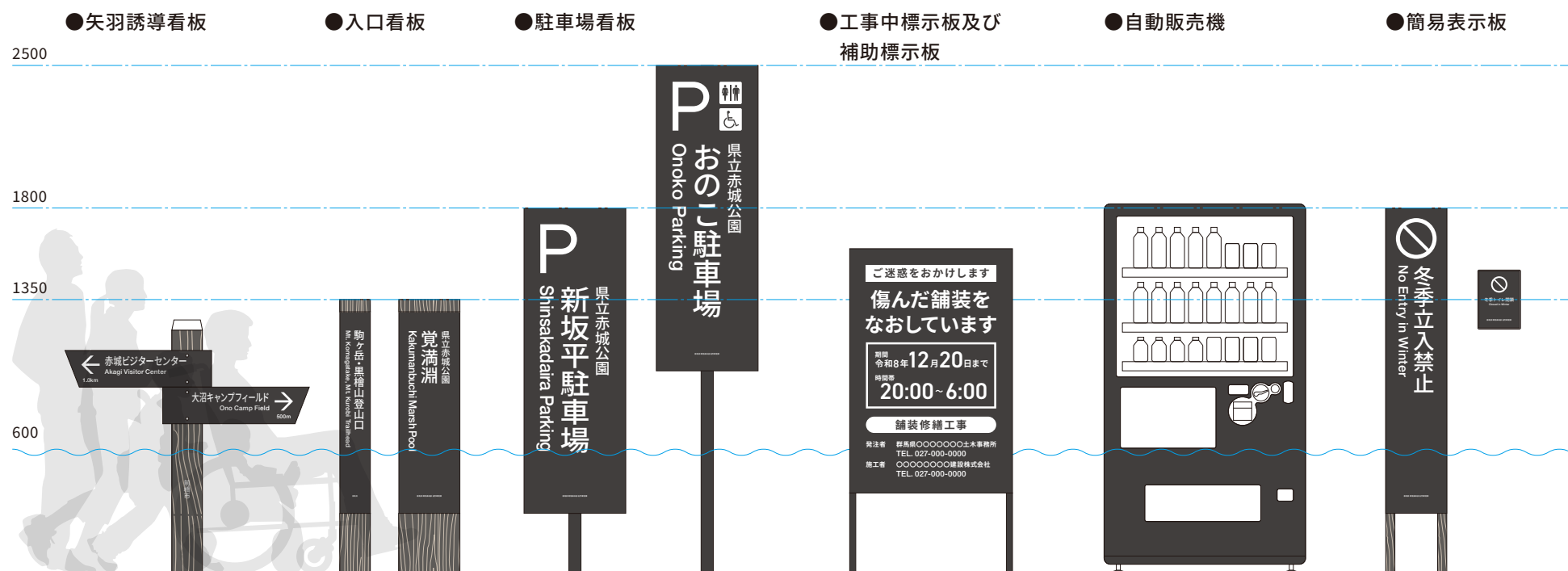
- 屋外に掲出する看板を中心に標準デザイン例などを取り上げます。
- 赤城山では地形の起伏や積雪、植物の成長などを考慮し、地面から600mmまでの範囲には表示を配置しないことが望ましいです。



scale=1/30

3-1 看板の種類

- 看板の高さは看板が隣接する場合などに、ある程度種類ごとに高さが揃うように設定しています。同じ高さが設定されている看板を隣接して設置する際には、看板の上端が揃うように調整するのが望ましいです。



scale=1/30

3-1 看板の種類

種類	屋外広告物									
	自家用広告物または非自家用広告物				非自家用広告物					簡易広告物
	広告板(建植広告物)または案内誘導広告物			壁面広告物	案内誘導広告物	広告板(建植広告物)		管理用広告物	—	
本書の呼び名	3-2-1	3-2-2	3-2-3	3-2-4	3-2-5	3-2-6	3-2-7	3-2-8	3-2-9	3-2-10
イメージ										
表示内容・機能	・自家用広告物として自己の営業内容を広告する ・案内誘導広告物として地図または施設の名称、距離、方向などを表示し、誘導する ・その他、解説、注意、禁止などを表示する	・自家用広告物として自己の営業内容を広告する ・案内誘導広告物として地図または施設の名称、距離、方向などを表示し、誘導する	・注意喚起、禁止事項などを表示する ※設置期間が短い一時的な看板は、前橋市屋外広告物条例上の分類では「簡易広告物」とする場合があります。	・トイレの位置を表示する ・トイレの男女別や機能を表示する	・主要な施設、目的地の名称、方向、距離を表示し、誘導する	・登山口、公園施設、史跡などの位置、名称を表示する	・駐車場の位置、名称を表示する ・駐車場内の機能を表示する	・工事内容、工事期間、工事発注者を周知する	—	・注意喚起、禁止事項などを表示する
対象者	歩行者／車両	歩行者／車両	主に歩行者	主に歩行者	主に歩行者	主に歩行者	主に車両	歩行者／車両	主に歩行者	主に歩行者
設置主体	行政／民間	行政／民間	行政／民間	行政／民間	主に行政	主に行政	主に行政	主に行政	行政／民間	主に行政

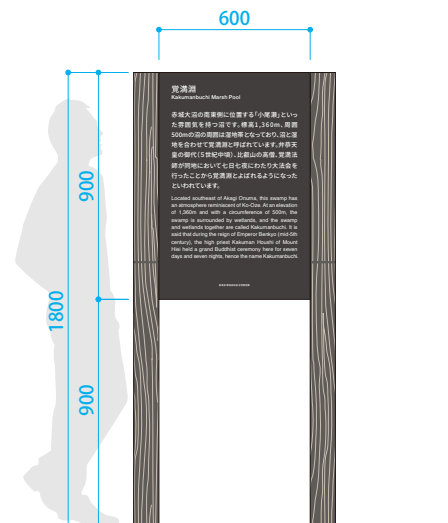
 は前橋市「屋外広告物条例」での分類。複数ある場合は表示内容による。／自家広告物：自己の氏名、名称、店名若しくは商標又は自己の事業若しくは営業の内容を広告するため、自己の住所又は事業所、営業所その他自己の営業の用に供する物件若しくは敷地に表示し、又は設置する屋外広告物等。／非自家広告物：自家広告物以外の屋外広告物。／案内広告物：非自家広告物の一種で、特定の施設や場所への案内誘導を目的とした案内誘導広告物と、主に公共団体や公共の団体が設置する地図、路線図、鳥かん図などの案内図板に区分されます。

3-2-1 自立看板 (自家用広告物または非自家用広告物／広告板 (建植広告物) または案内誘導広告物)

— 25

- ・自家用広告物、案内誘導広告物、施設や史跡解説、注意喚起、禁止事項の周知などに使用する自立式の看板です。
- ・幅600mm (W600タイプ) で表示が収まらない場合や、車両用に表示する場合は、幅900mm (W900タイプ)、幅1500mm (W1500タイプ) としてください。

●W600タイプ



scale=1/30

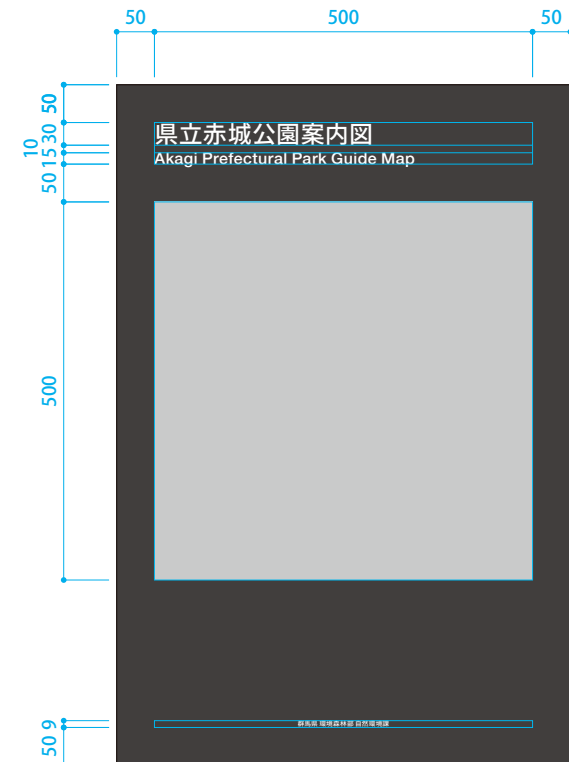
■ 支柱、表示ベース: 19-30A
□ 表示: 白 (指定なし)

●[W600タイプ] 標準表示例 (解説)



scale=1/10

●[W600タイプ] 標準表示例 (案内図板)

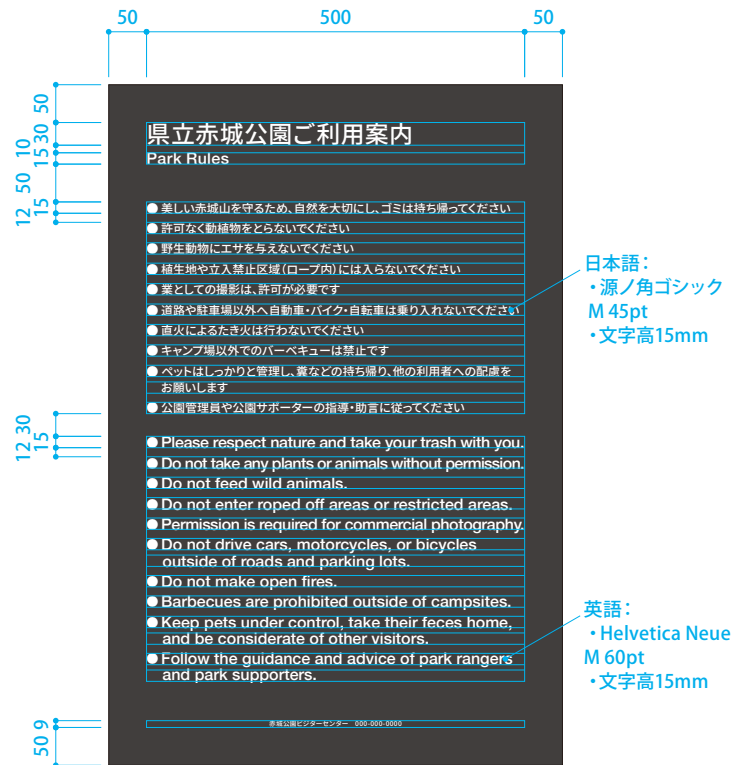


■ 表示ベース: 19-30A
□ 表示: 白 (指定なし)

3-2-1 自立看板 (自家用広告物または非自家用広告物／広告板(建植広告物)または案内誘導広告物)

— 26

● [W600タイプ] 標準表示例 (注意)



● [W600タイプ] 標準表示例 (注意)



● [W600タイプ] 標準表示例 (自家用看板)



scale=1/10

表示ベース: 19-30A □ 表示: 白 (指定なし)
表示ベース: 19-60B

3-2-1 自立看板（自家用広告物または非自家用広告物／広告板（建植広告物）または案内誘導広告物）

— 27

×NG例

解説など同じ役割をする看板は
文字の大きさや配置を変えない
適切なマージン（余白の領域）がない
レイアウトとしない

×

覚満淵
Kakumanbuchi Marsh Pool

赤城大沼の南東側に位置する「小尾瀬」といった雰囲気を持つ沼です。標高1,360m、周囲500mの沼の周囲は湿地帯となっており、沼と湿地を合わせて覚満淵と呼ばれています。弁恭天皇の御代（5世紀中頃）、比叡山の高僧、覚満法師が同地において七日七夜にわたり大法会を行ったことから覚満淵とよばれるようになったといわれています。湿原特有の様々な植物が見られるほか、6月中旬～下旬頃にはレンゲツツジ、初夏には新緑、秋には紅葉、冬は雪景色など、四季折々の自然が楽しめます。覚満淵を一周（約40分）する木道が整備されており、気軽にハイキングや自然観察が楽しめます。

Located southeast of Akagi Onuma, this swamp has an atmosphere reminiscent of Ko-Oze. At an elevation of 1,360m and with a circumference of 500m, the swamp is surrounded by wetlands, and the swamp and wetlands together are called Kakumanbuchi. It is said that during the reign of Emperor Benkyo (mid-5th century), the high priest Kakuman Houshi of Mount Hiei held a grand Buddhist ceremony here for seven days and seven nights, hence the name Kakumanbuchi.

群馬県 環境自然部 自然環境課

文字に60%以上の
長体をかけない

×NG例

×

ご注意
Please Note

- 駐車禁止
No Parking
- テント設営禁止
No Tents
- バーベキュー禁止
No BBQ
- 火気使用禁止
No Open Flames
- 遊泳禁止
No Swimming

過度に鮮やかな色を
使用しない

×NG例

×

お食事処

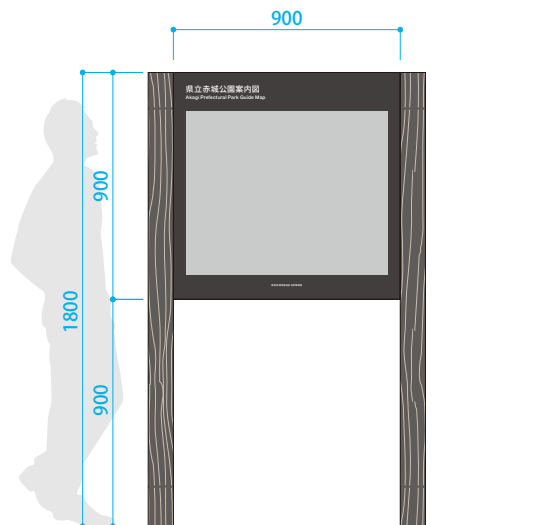
そば
うどん

画像や模様、グラデーションなどを
表示ベースとして全面に配置しない

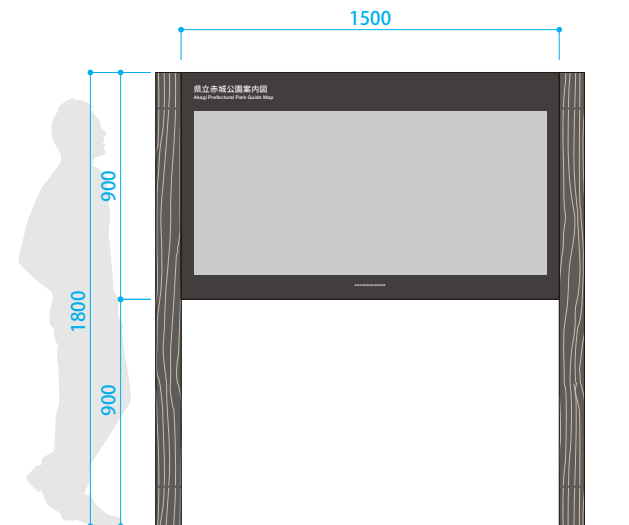
3-2-1 自立看板 (自家用広告物または非自家用広告物／広告板(建植広告物)または案内誘導広告物)

— 28

●w900タイプ



●w1500タイプ



scale=1/30

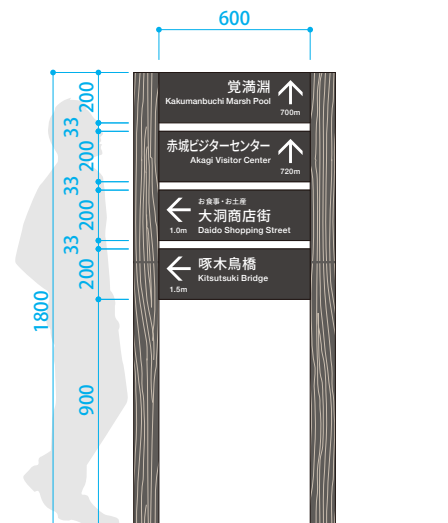
■ 支柱、表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

3-2-2 集合看板（自家用広告物または非自家用広告物／広告板（建植広告物）または案内誘導広告物）

— 29

- 複数の自家用広告物や案内誘導広告物をまとめて表示する自立式の看板です。
- 案内誘導を行う場合は、矢印と距離表示を行います。
- 4段表示できる歩行者タイプと、3段表示できる車両タイプがあります。
- 看板を並べる場合は2つまでとするのが望ましく、それより多くなる場合は自立看板として1つの盤面にまとめます。

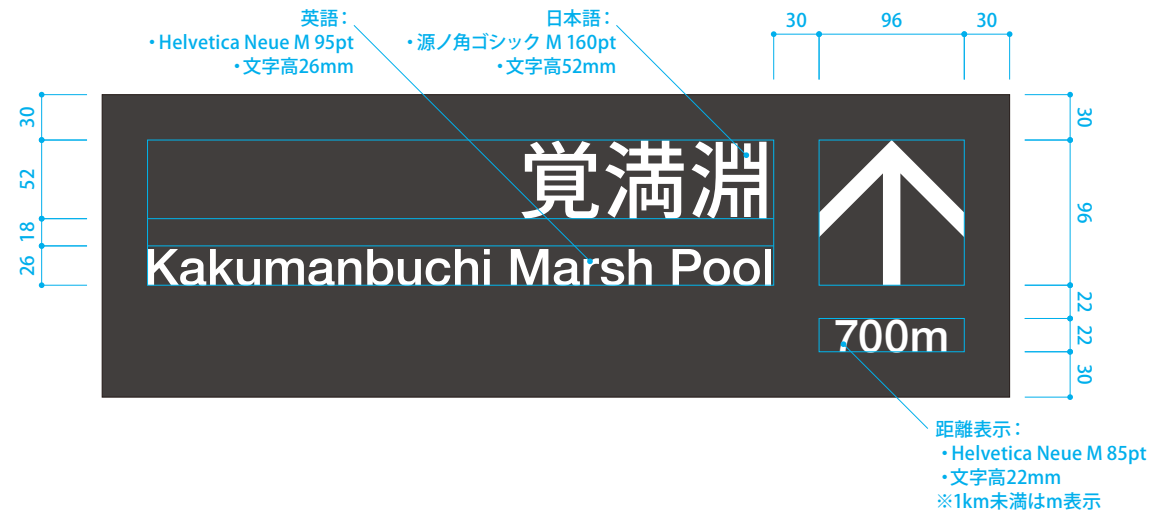
●歩行者タイプ



scale=1/30

■ 支柱、表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

●【歩行者タイプ】標準表示例



●【歩行者タイプ】標準表示例（中国語、韓国語表記をつける場合）



scale=1/5

■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

3-2-2 集合看板（自家用広告物または非自家用広告物／広告板（建植広告物）または案内誘導広告物）

— 30

●[歩行者タイプ] 標準表示例（補足をつける場合）



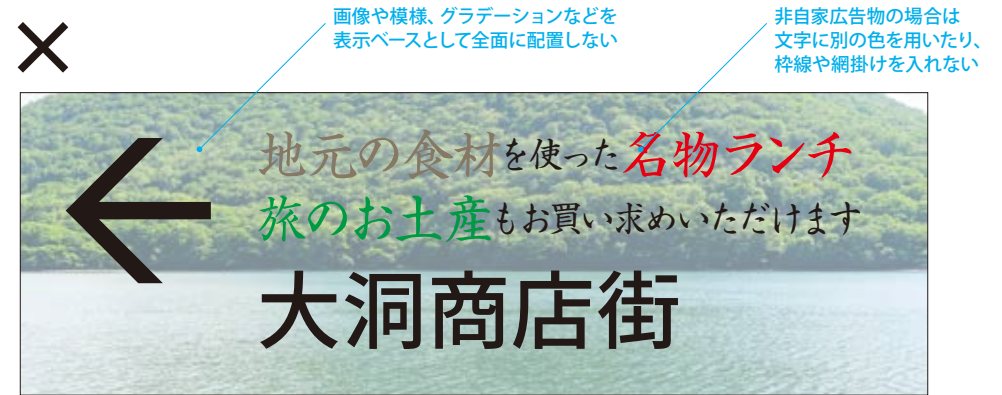
●[歩行者タイプ] 標準表示例（自家用広告物）



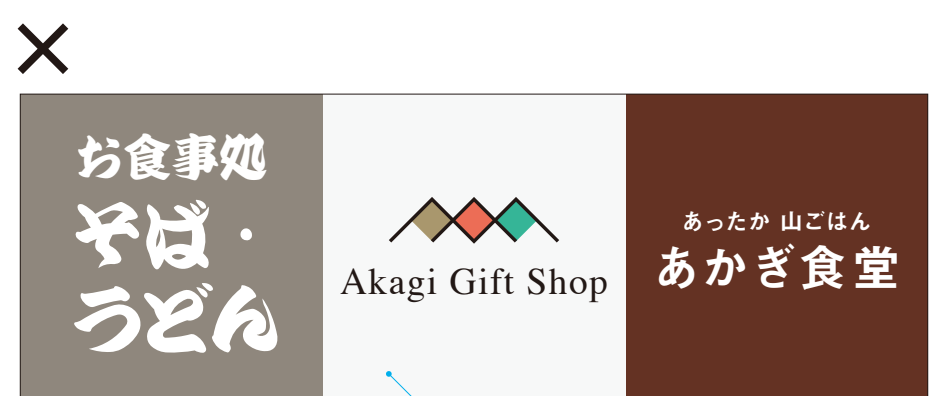
scale=1/5

■ 表示ベース：19-30A □ 表示：白（指定なし）
■ 表示ベース：19-60B

×NG例



×NG例



1つの盤面に複数の広告を表示しない

scale=1/5

3-2-2 集合看板 (自家用広告物または非自家用広告物／広告板(建植広告物)または案内誘導広告物)

— 31

●車両タイプ



scale=1/30

■ 支柱、表示ベース: 19-30A
□ 表示: 白 (指定なし)

●[車両タイプ] 標準表示例 (補足をつける場合)



●[車両タイプ] 標準表示例 (施設名のみの場合)



scale=1/10

■ 表示ベース: 19-30A
□ 表示: 白 (指定なし)

3-2-2 集合看板 (自家用広告物または非自家用広告物／広告板 (建植広告物) または案内誘導広告物)

— 32

● [車両タイプ] 標準表示例 (自家用広告物の場合)



● [車両タイプ] 標準表示例 (自家用広告物、表示ベース色が白に近い場合)



scale=1/10

表示ベース: 19-30A 表示: 白 (指定なし)
表示ベース: N-90 表示: 黒 (指定なし)

3-2-2 集合看板 (自家用広告物または非自家用広告物／広告板(建植広告物)または案内誘導広告物)

— 33

×NG例

×



矢印が外向きでない配置はしない

非自家広告物の場合は
文字に別の色を用いたり、
枠線や網掛けを入れない

×



補足は文字を小さくしすぎない
多くのメッセージを載せすぎない

文字に60%以上の
長体をかけない

1つの盤面に複数の
矢印を表示しない

scale=1/10

3-2-2 集合看板 (自家用広告物または非自家用広告物／広告板(建植広告物)または案内誘導広告物)

— 34

×NG例

×



画像や模様などを
表示ベースとして全面に配置しない

×



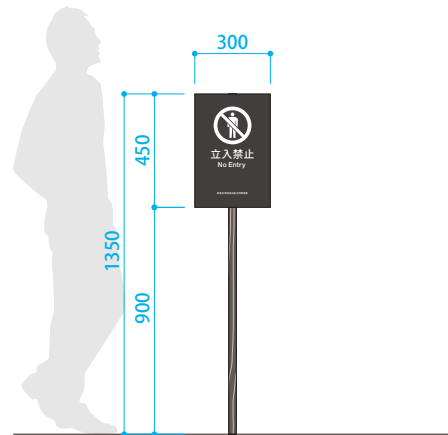
過度に鮮やかな色やB(青)～P(紫)系を大きな面積で使用しない
青と黒など見えづらい配色にしない

scale=1/10

3-2-3 注意看板 (非自家用広告物／簡易広告物)

- ・屋外で注意喚起などを行う場合に表示する看板です。
- ・景観に配慮しているとはいえ、あまり乱立させると見せるべき景観が阻害され、効果も薄くなるため、表示内容を簡潔にしたり、まとめて自立看板とするなどして極力数を減らすことが望ましいです。
- ・歩行者／車両の対象別、表示の量により、幅300mm×高さ450mm (H450タイプ)、幅300mm×高さ900mm (H900タイプ)を設定します。

●H450タイプ



scale=1/30

■ 支柱、表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

●[H450タイプ] 標準表示例



scale=1/5

●[H450タイプ] 標準表示例 (補足をつける場合)



■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

3-2-3 注意看板 (非自家用広告物／簡易広告物)

●[H450タイプ]標準表示例(注意を2つ表示する場合)



●[H450タイプ]標準表示例(文字のみの場合)



scale=1/5

■ 表示ベース：19-30A

☐ 表示：白（指定なし）

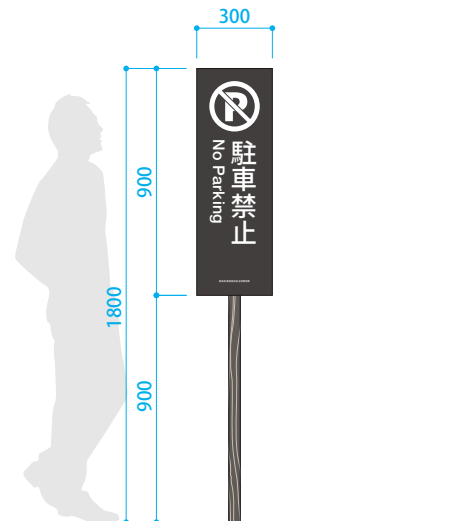
× NG例



scale=1/5

3-2-3 注意看板 (非自家用広告物／簡易広告物)

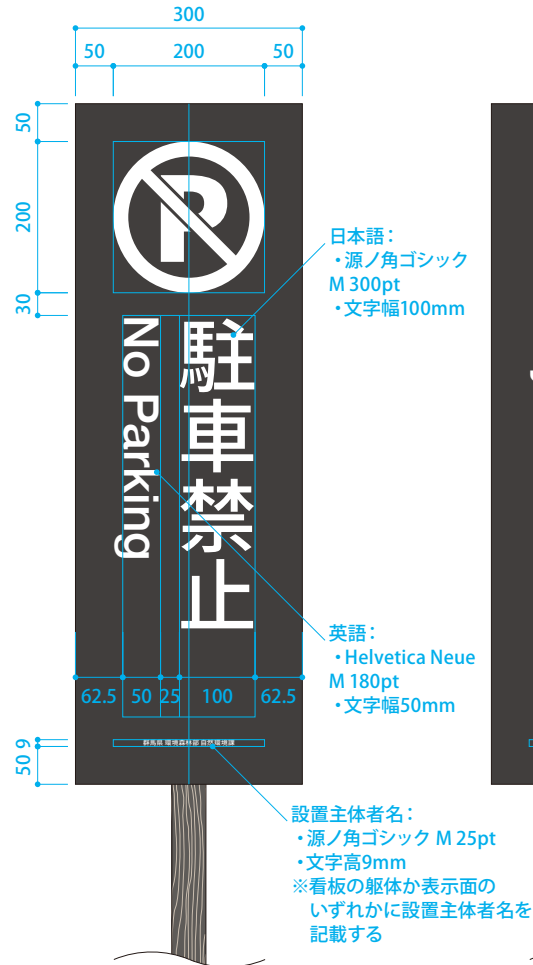
●H900タイプ



scale=1/30

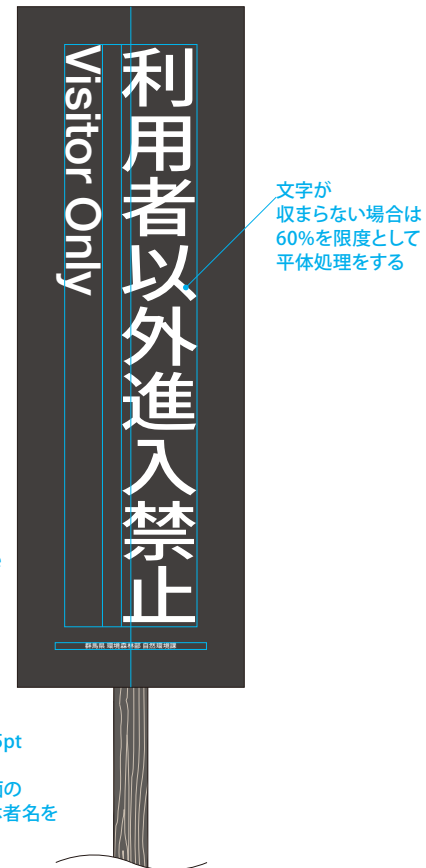
■ 支柱、表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

●[H450タイプ] 標準表示例 (ピクトグラムをつける場合)



scale=1/10

●[H450タイプ] 標準表示例 (文字数が多い場合)



■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

×NG例

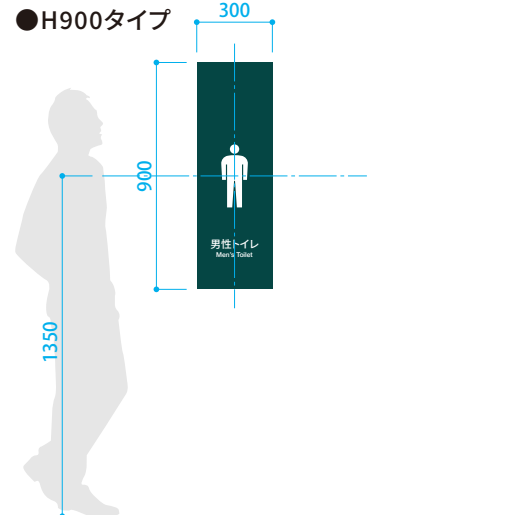


scale=1/10

3-2-4 トイレ看板 (非自家用広告物／壁面広告物)

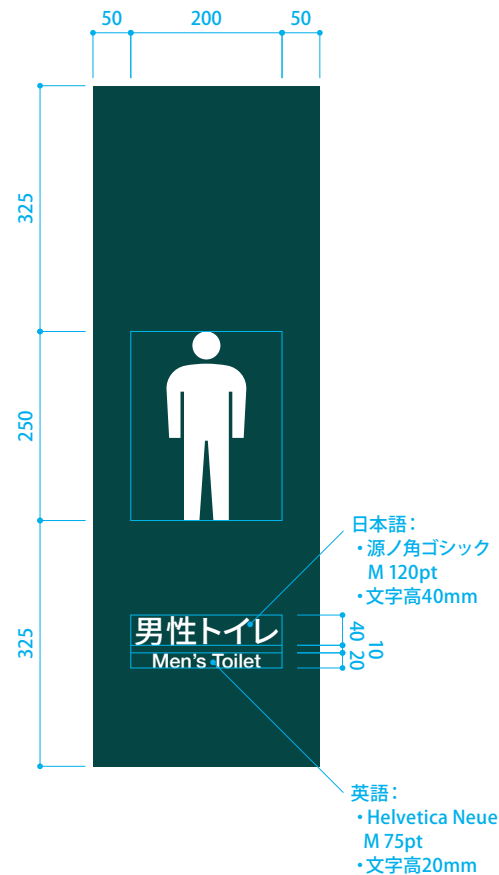
— 38

- ・公共トイレの入口に表示する壁付の看板です。
- ・多目的トイレの中のアストメイトやオムツ替えシートなど、機能がある場合はピクトグラムを合わせて表示します。
- ・男女の区別をわかりやすくするためにベースの色を分けます。
- ・表示の高さは看板の中心が地面から高さ1350mmとなる位置を基準とします。調整する場合は可能な限り高さが揃うようにします。
- ・幅300mm×高さ900mm (H900タイプ) と、スペースの関係上設置が難しい場合のため幅300mm×高さ450mm (H450タイプ) を設定します。



scale=1/30 ■ 男性トイレの表示ベース：55-30L
□ 表示：白（指定なし）

● [H900タイプ] 標準表示例
(男性トイレ)



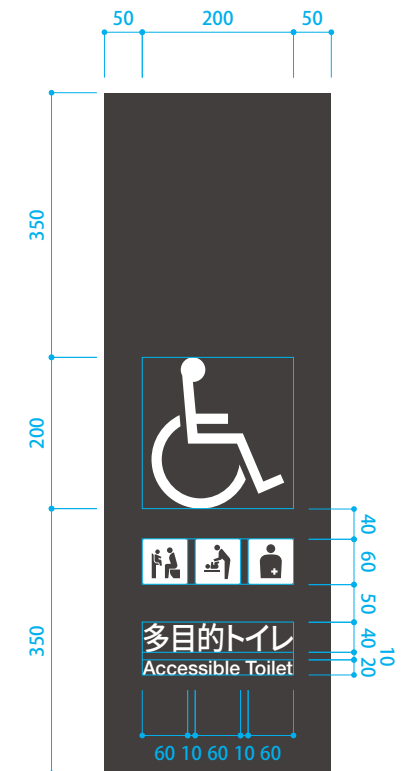
scale=1/10

● [H900タイプ] 標準表示例
(女性トイレ)



■ 男性トイレの表示ベース：55-30L
■ 女性トイレの表示ベース：09-40L
□ 表示：白（指定なし）

● [H900タイプ] 標準表示例
(多目的トイレ)

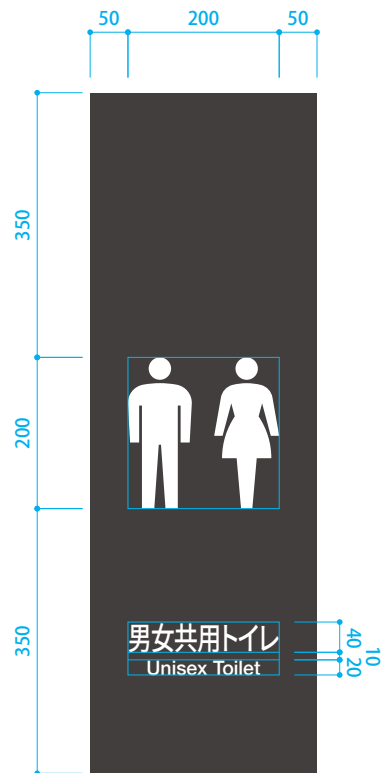


■ 多目的トイレなど、その他の表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

3-2-4 トイレ看板 (非自家用広告物／壁面広告物)

— 39

● [H900タイプ] 標準表示例 (男女共用トイレ)



scale=1/10

■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

× NG例



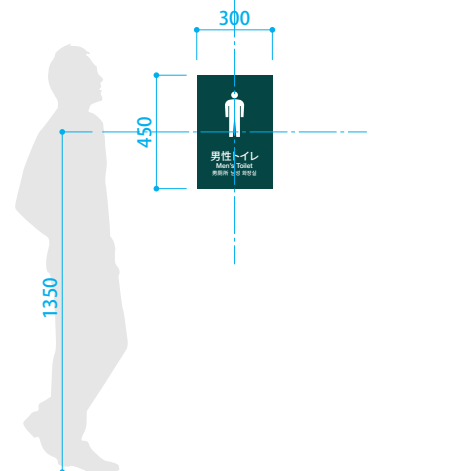
scale=1/10



3-2-4 トイレ看板 (非自家用広告物／壁面広告物)

— 40

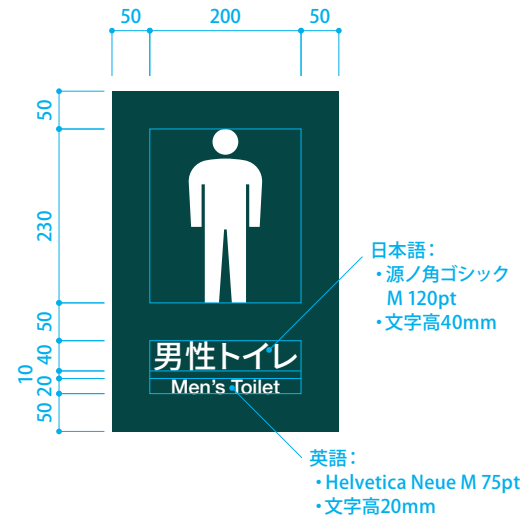
● H450タイプ



scale=1/30 ■ 男性トイレの表示ベース：55-30L

□ 表示：白（指定なし）

● [H450タイプ] 標準表示例 (男性トイレ)



● [H450タイプ] 標準表示例 (女性トイレ)



● [H450タイプ] 標準表示例 (多目的トイレ)



● [H450タイプ] 標準表示例 (男女共用トイレ)



■ 男性トイレの表示ベース：55-30L

□ 表示：白（指定なし）

■ 多目的トイレなど、その他の表示ベース：19-30A

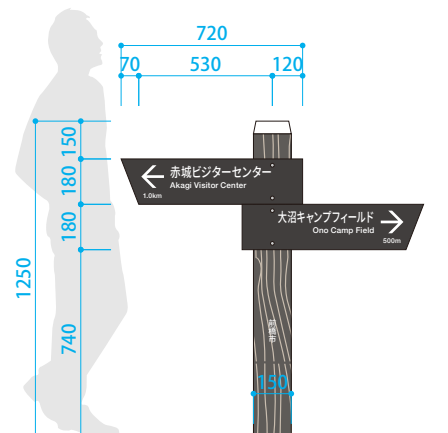
■ 女性トイレの表示ベース：09-40L

3-2-5 矢羽誘導看板 (非自家用広告物／案内誘導広告物)

— 41

- 主要な施設、目的地の名称、方向、距離を表示し、誘導することを目的とした自立式の看板です。
- 矢印が目的地へ向かうように盤面の角度を変えます。
- 施設内に公共トイレなどがある場合はピクトグラムも表示できます。

●片方向タイプ



scale=1/30

■ 支柱、表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

●[片方向タイプ] 標準表示例



●[片方向タイプ] 標準表示例 (中国語、韓国語表記をつける場合)



scale=1/5

■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

3-2-5 矢羽誘導看板（非自家用広告物／案内誘導広告物）

— 42

●【片方向タイプ】標準表示例（複数箇所を案内する場合、文字数が多い場合、ピクトグラムをつける場合）



× NG例



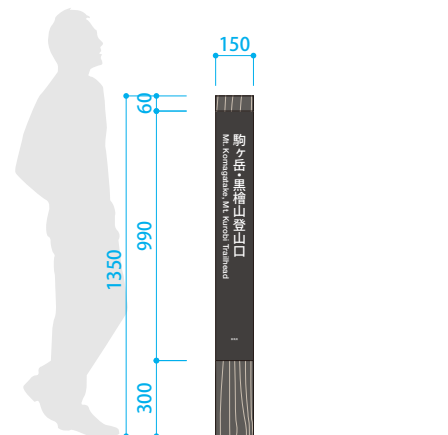
scale=1/5

■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

3-2-6 入口看板 (非自家用広告物／広告板(建植広告物))

- 公園施設の入口、登山口、史跡などの位置、名称を表示する自立式の看板です。建築物や駐車場の入口には立てません。
- 登山口、史跡、遊歩道など比較的小さな施設を示す標柱タイプと、比較的広域の施設を示す板状の盤面タイプを設定します。

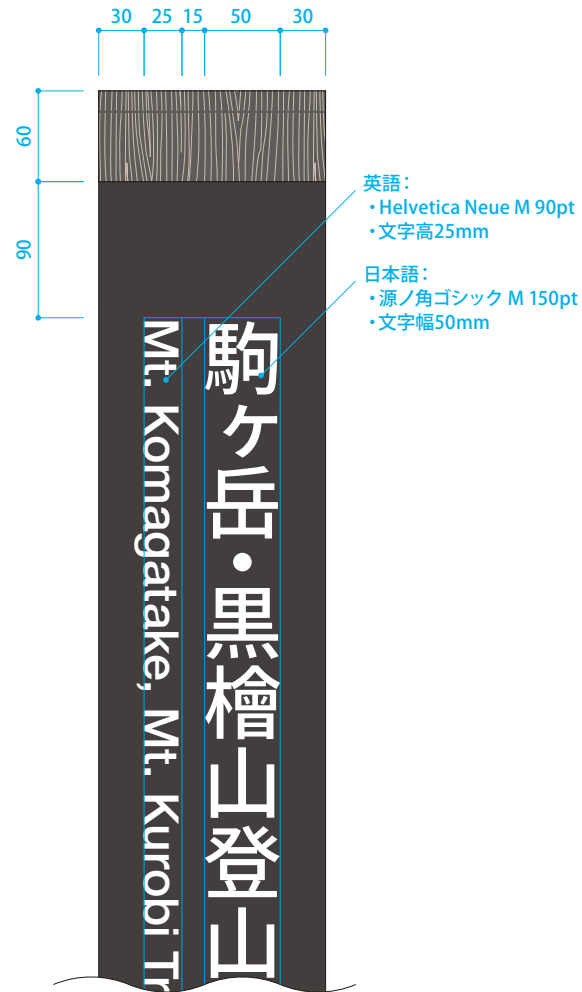
●標柱タイプ



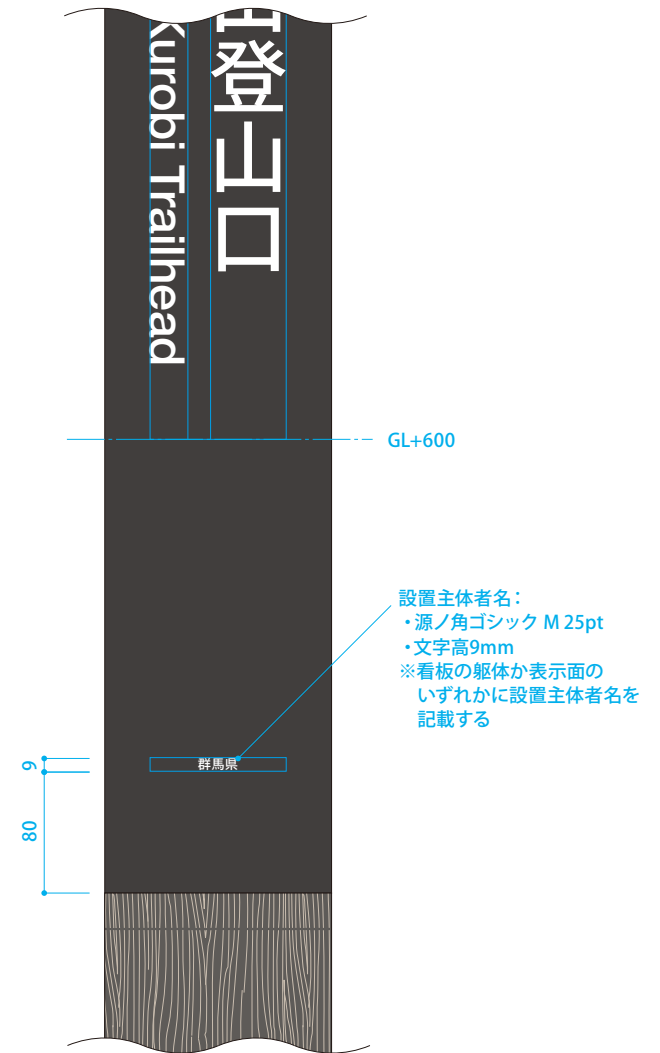
scale=1/30

■ 支柱、表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

●[標柱タイプ] 標準表示例



scale=1/5

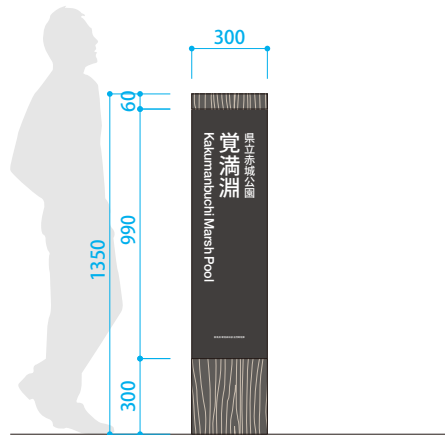


■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

3-2-6 入口看板 (非自家用広告物／広告板(建植広告物))

— 45

● 盤面タイプ



scale=1/30

■ 支柱、表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

● [盤面タイプ] 標準表示例

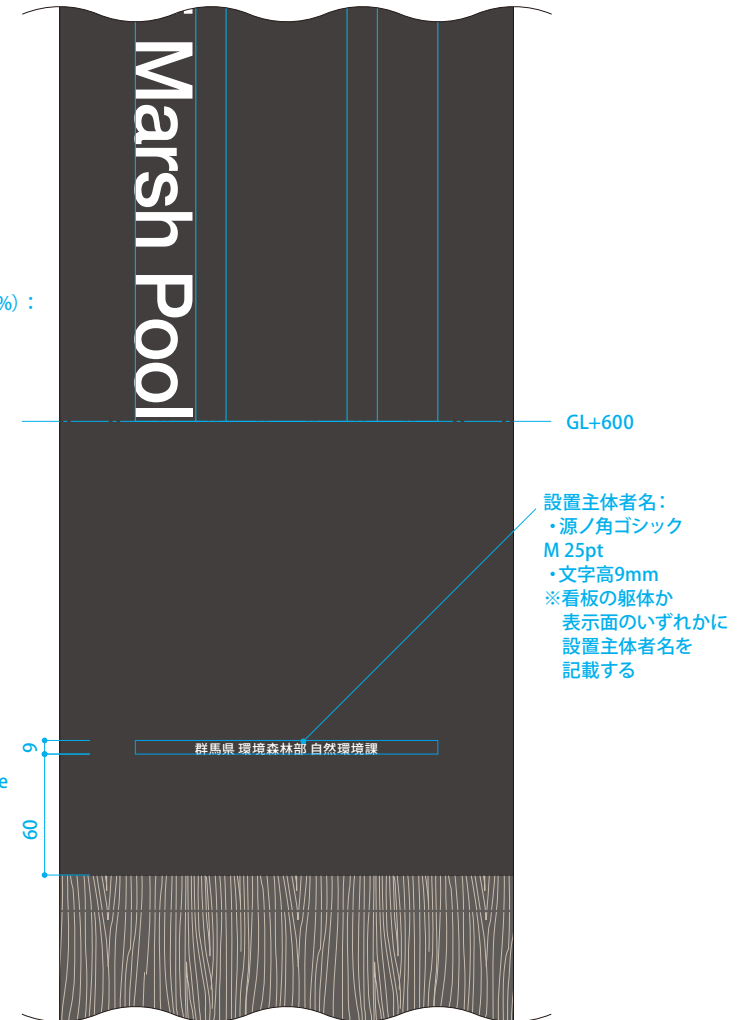


scale=1/5

日本語：
・源ノ角ゴシック
M 250pt
・文字幅80mm

公園表記
(基本表示の50%)：
・源ノ角ゴシック
M 125pt
・文字幅40mm

英語：
・Helvetica Neue
M150pt
・文字高40mm



設置主体者名：
・源ノ角ゴシック
M 25pt
・文字高9mm
※看板の躯体か
表示面のいずれかに
設置主体者名を
記載する

■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

3-2-6 入口看板 (非自家用広告物／広告板(建植広告物))

— 46

×NG例



民間施設や誘導など
登山口や公園施設入口
以外の表示には
使用しない

×NG例



ピクトグラムを
使用しない。
余白に別の要素を
追加しない

文字に別の色を用いたり、
枠線や網掛けを入れない

文字に60%以上の
長体をかけない

ベースの色を
変えない

×NG例

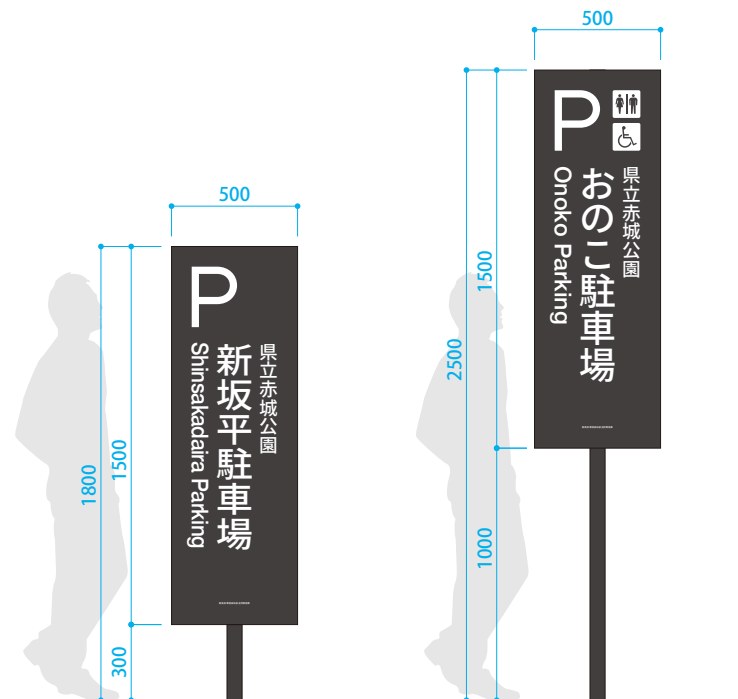


看板に対して
張り紙を表示しない

scale=1/10

3-2-7 駐車場看板 (非自家用広告物／広告板(建植広告物))

- 公共の駐車場の位置、名称を示す自立式の看板です。
- 駐車場内に公共トイレなどがある場合はピクトグラムも表示できます。
- 設置場所により、支柱の長さを調整することで、高さ1800mm～2500mmまで調整することができます。



scale=1/30

■ 支柱、表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

● 標準表示例



3-2-7 駐車場看板 (非自家用広告物／広告板(建植広告物))

●標準表示例
(ピクトグラムを
つける場合)



●標準表示例
(文字数が多い場合)

文字が収まらない場合は
60%を限度として
平体処理をする



scale=1/10

■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

3-2-7 駐車場看板（非自家用広告物／広告板（建植広告物））

— 49

× NG例

×



scale=1/10

× NG例

×



3-2-8 工事中標示板及び補助標示板（管理用広告物）

— 50

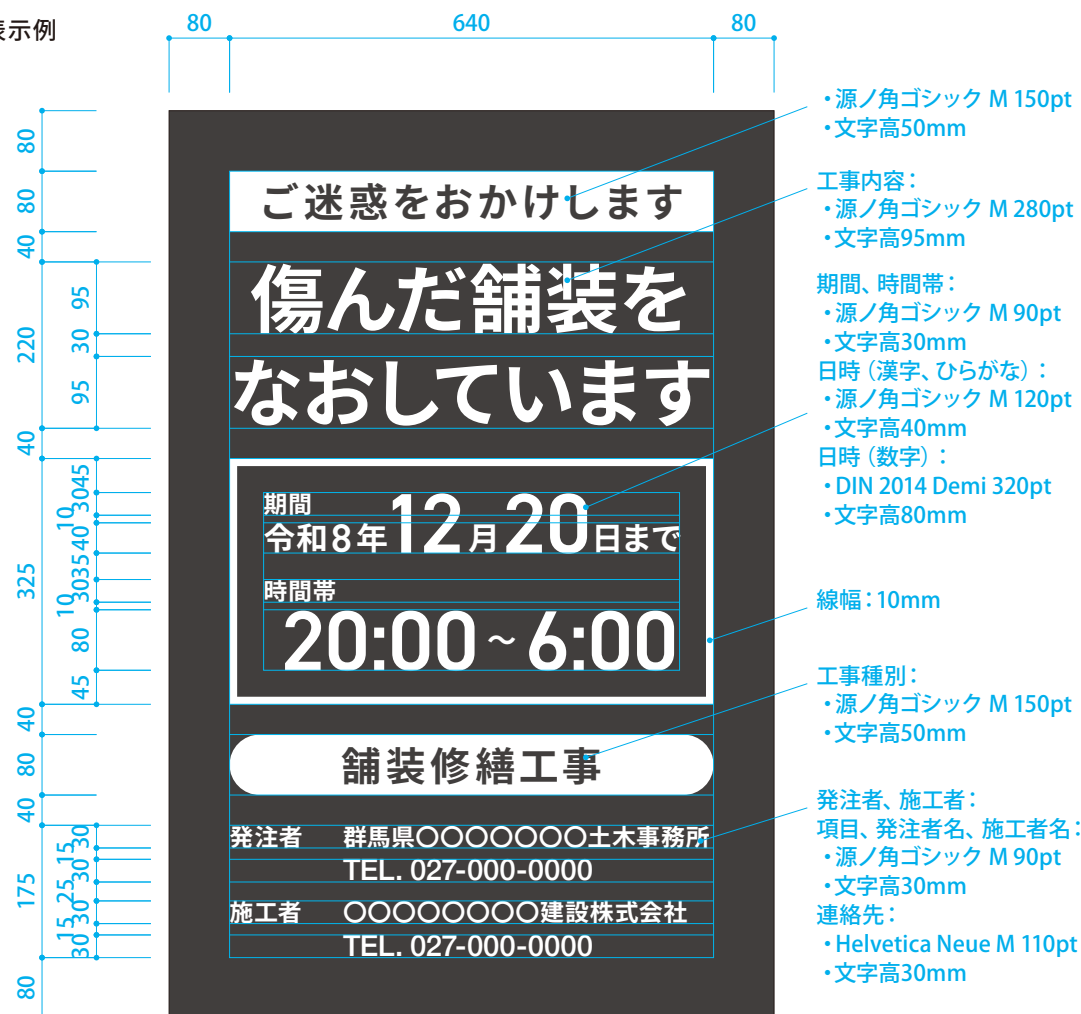
- 工事の際、工事内容、工事期間、工事発注者などを周知する簡易的な立看板です。
- 一時的な表示ではありますが、表示する期間が長い場合、景観を形成する要素になるため、環境に配慮した標示板の設置を推奨します。
- 工事中標示板及び補助標示板以外の標示板は、安全性を優先し、「路上工事等の安全施設設置要領」等で規定された様式を使用することとします。
- 幅800mm×高さ1200mm (W800タイプ) と、幅1100mm×高さ1400mm (W1100タイプ) を設定します。



scale=1/30

■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

● [W800タイプ] 標準表示例



scale=1/10

■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

3-2-8 工事中標示板及び補助標示板（管理用広告物）

— 51

×NG例

×

○○○○○○○○○○○○○○

工事をしています

皆様には何かとご不便をお掛けしますが ご協力をお願いいたします



工事場所 ○○市○○町○○
 請負金額 ○○○○万円
 工 期 平成19年○月○日～平成19年○月○日

群馬県

お気づきの点は、下記までご連絡ください

○○建設株式会社 電話 027-000-0000
 群馬県○○土木事務所 電話 027-000-0000

群馬県
「路上工事等の
安全施設設置要領」
にて規定されている
盤面のデザインを
使用しない。※

×NG例

×

ご迷惑をおかけします

道路の白線を引く工事と
ガードレールを景観に合う色に
塗り直す工事をしています

令和8年 9月15日まで
時間帯 8:00～15:00

道路工事

発注者群馬県○○○○○○○土木事務所
TEL. 027-000-0000

施工者○○○○○○○○○建設株式会社
TEL. 027-000-0000

既製の工事用標示板
のような鮮やかな
青色の表示としない

群馬県の規定よりも
長い文字数を表示しない。

書体、表記、レイアウト
などのルールを
看板ごとに変えない

scale=1/10

※工事中標示板及び補助標示板以外の標示板は、安全性を優先し、「路上工事等の安全施設設置要領」等で規定された様式を使用すること。

3-2-8 工事中標示板及び補助標示板（管理用広告物）

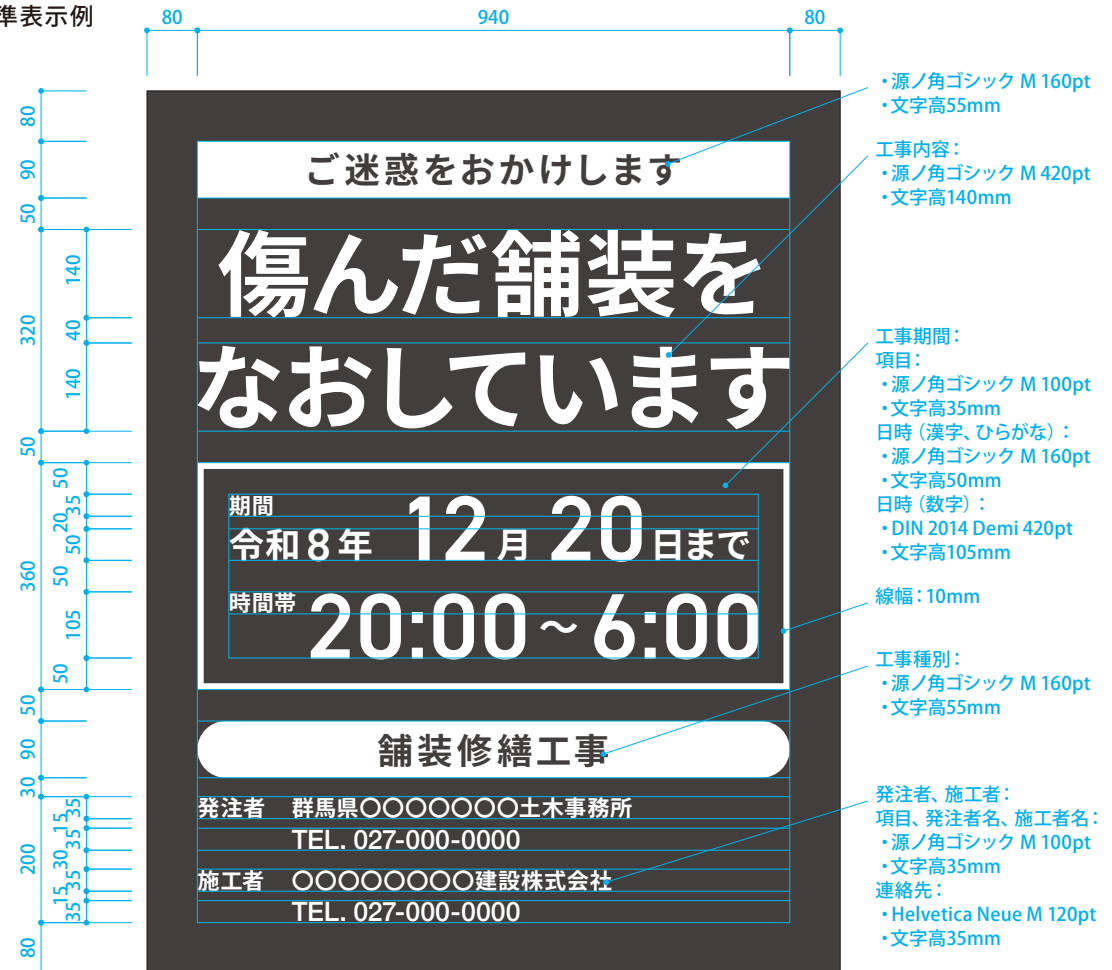
— 52



scale=1/30

■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

● [W1100タイプ] 標準表示例

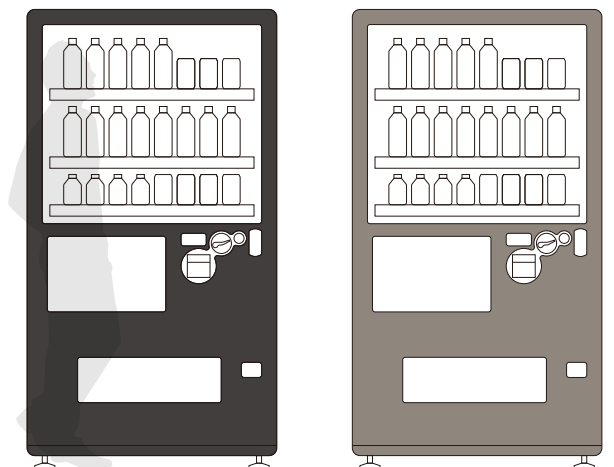


scale=1/12

■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

3-2-9 自動販売機

- 飲料メーカーの広告媒体としてロゴなどが表示されている場合が多いですが、ラッピングを変更することもできます。
- 赤城山エリア内の自動販売機は、新設や更新をする際に景観の推奨色へと変更することが望ましいです。
- 自動販売機に限らず、カラーコーンや足拭きマットなど、目立たせる必要がなく色を変更できるものは、思い切って推奨色やそれに近い色に変えてみるのも良いかもしれません。



scale=1/30

■ ラッピング : 19-30A
■ ラッピング : 19-60B

●自動販売機



●その他のアイテム

カラーコーン



足拭きマット



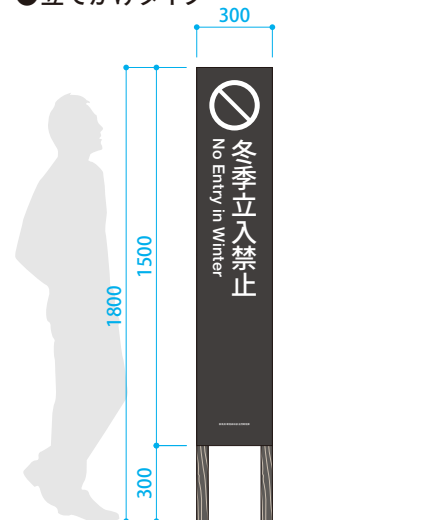
サイクルスタンド



3-2-10 簡易表示板（簡易広告物）

- トイレや屋内外で注意喚起などを行う場合の簡易的な表示です。
- 掲出方法により、基礎のない立て看板となる立てかけタイプ、壁付となるA4タイプとA4タイプ、壁などに直貼りするシートタイプがあります。
- 立てかけタイプはイベント時など一時的な表示や、時期によって変化する表示での利用を想定しています。

● 立てかけタイプ



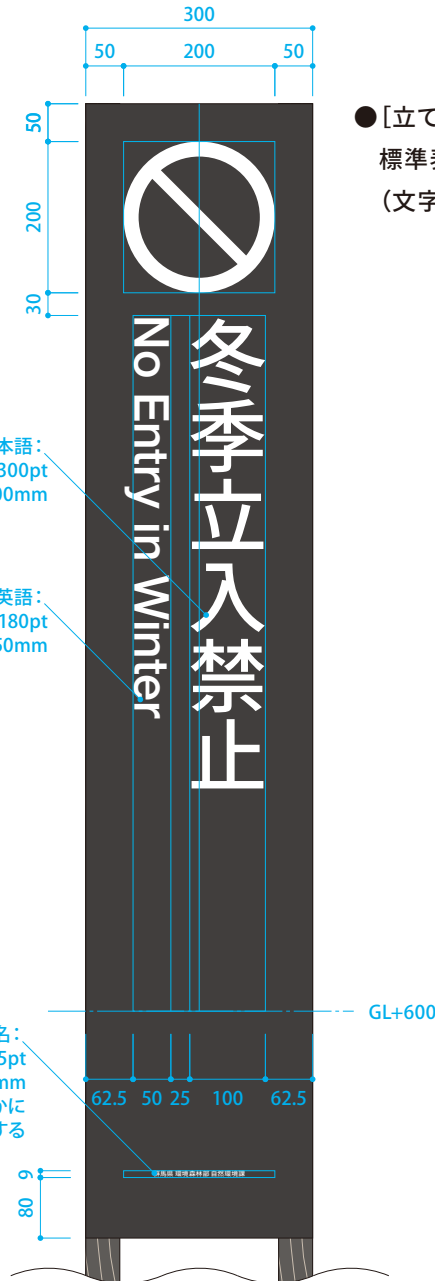
● [立てかけタイプ] 標準表示例 (ピクトグラムを つける場合)

日本語:
・源ノ角ゴシック M 300pt
・文字幅100mm

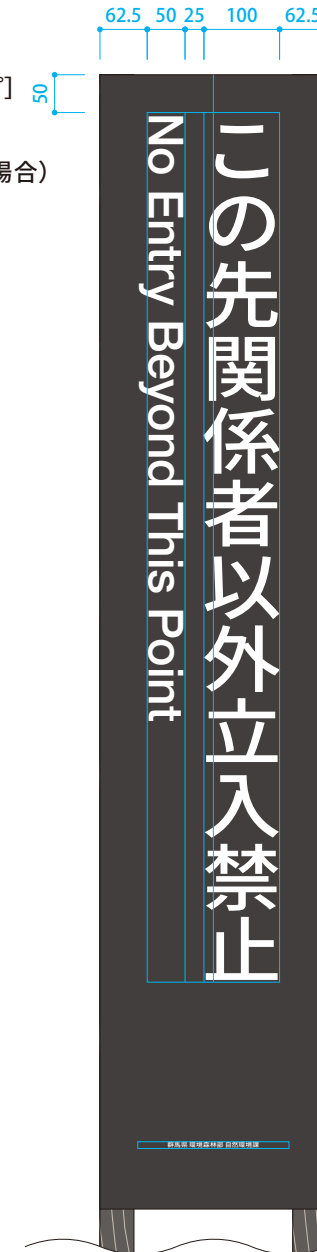
英語:
・Helvetica Neue M 180pt
・文字高50mm

設置主体者名:
・源ノ角ゴシック M 25pt
・文字高9mm
※看板の躯体が表示面のいずれかに
設置主体者名を記載する

scale=1/10



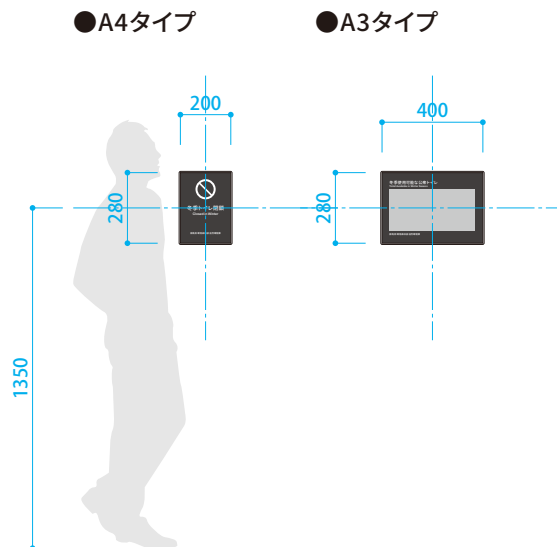
● [立てかけタイプ] 標準表示例 (文字数が多い場合)



■ 表示ベース: 19-30A
□ 表示: 白 (指定なし)

3-2-10 簡易表示板 (簡易広告物)

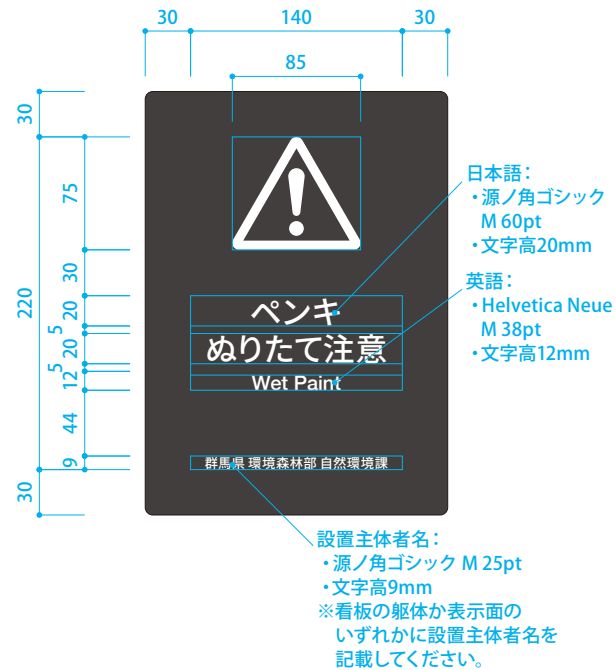
- 壁付やシールは常設の場合、木板や金属製の板などに表示することが望ましいですが、緊急性が高い場合はラミネート加工した用紙の使用も可能で、A4サイズ(縦)、A3サイズ(横)から作成することを想定しています。
- 表示の高さは看板の中心が地面から高さ1350mmとなる位置を基準とします。可能な限り高さが揃え、定位置を定めるようにしてください。



scale=1/30

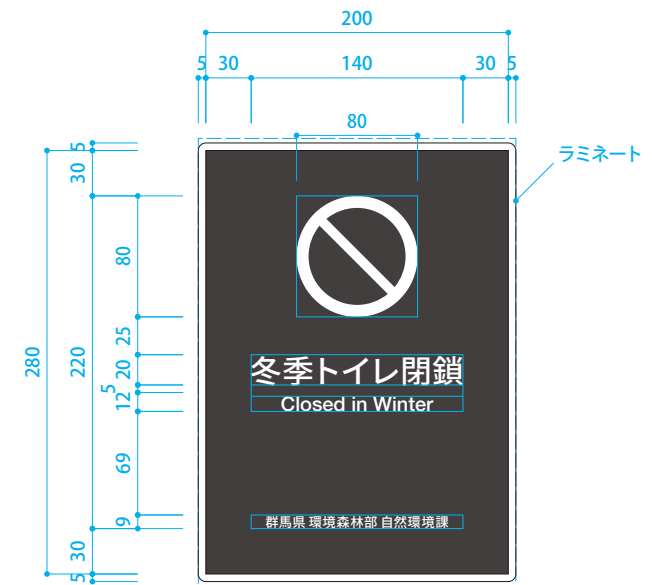
■ 表示ベース: 19-30A
□ 表示: 白 (指定なし)

● [A4タイプ] 標準表示例



scale=1/5

● [A4タイプ] 標準表示例 (ラミネートの場合)

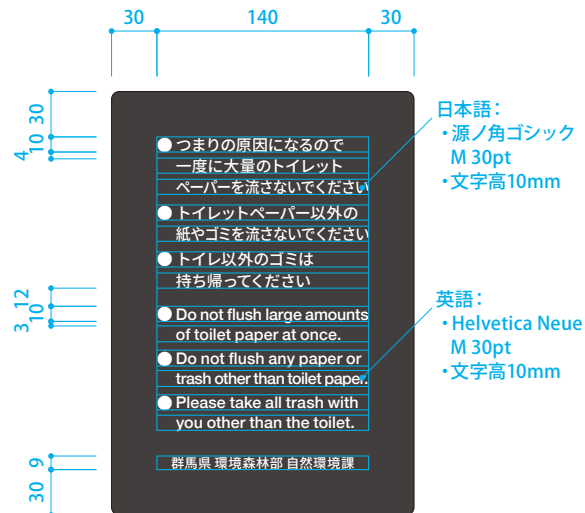


■ 表示ベース: 19-30A
□ 表示: 白 (指定なし)

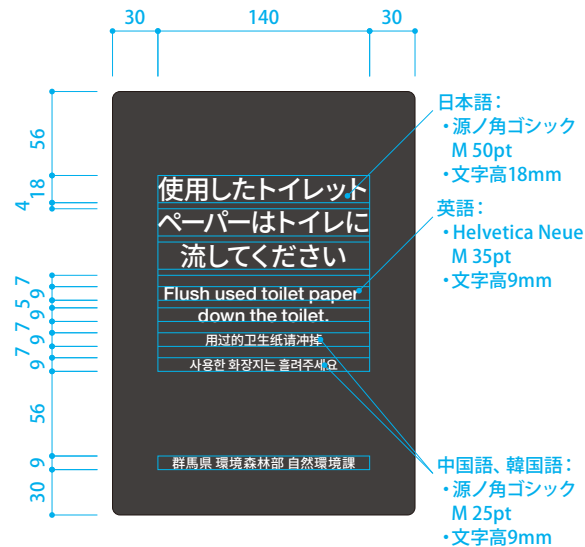
3-2-10 簡易表示板（簡易広告物）

— 56

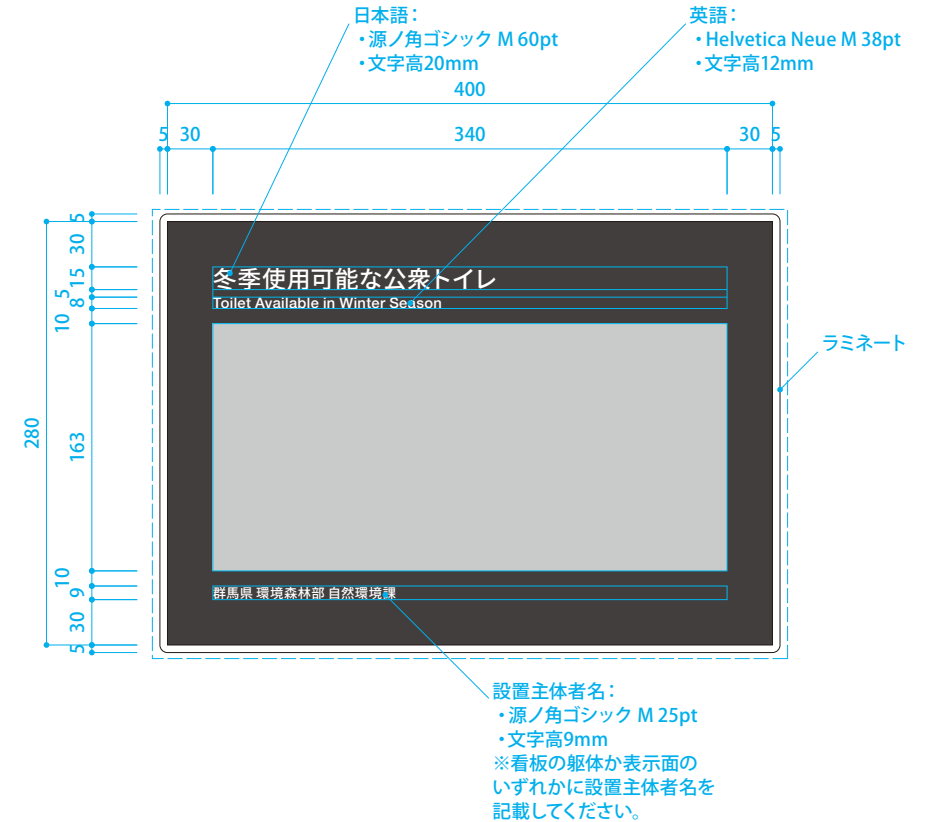
●[A4タイプ] 標準表示例 （文字数が多い場合）



●[A4タイプ] 標準表示例 （中国語、韓国語表記をつける場合）



●[A3タイプ] 標準表示例



scale=1/5

■ 表示ベース: 19-30A
□ 表示: 白 (指定なし)

3-2-10 簡易表示板（簡易広告物）

— 57

× NG例

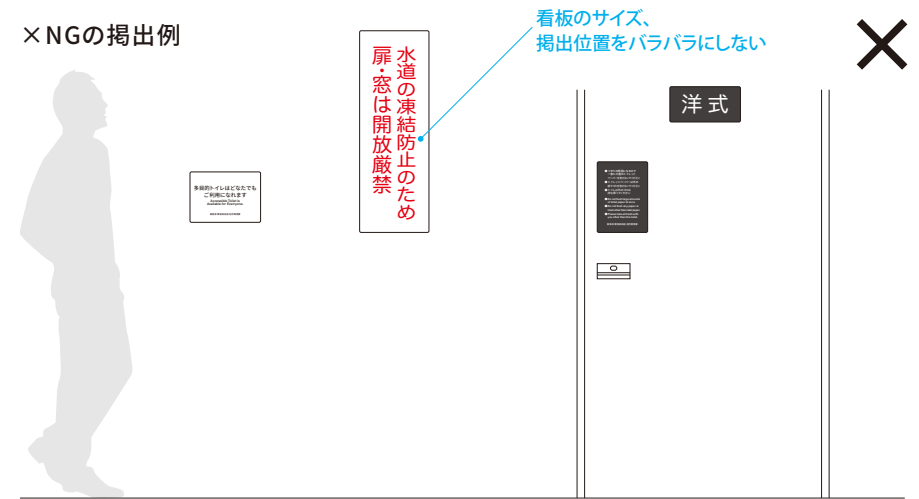


scale=1/5

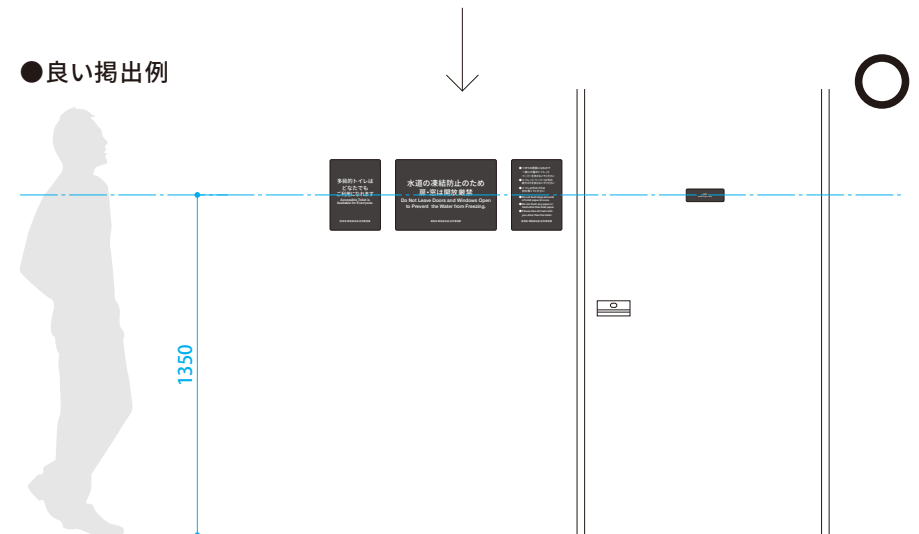
× NG例



× NGの掲出例



● 良い掲出例



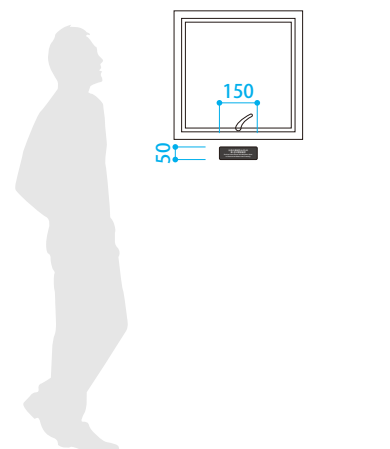
様々なサイズや形態の看板をバラバラに配置するのではなく、見やすい目線の高さに配置を揃えるなど配置にルールを設けます。

scale=1/30

3-2-10 簡易表示板（非自家用広告物／簡易広告物）

— 58

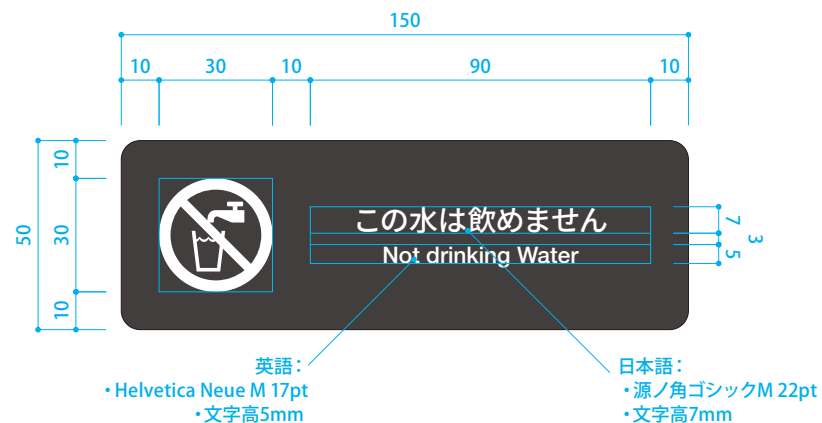
- 小さな表示はシールの貼付でも対応可能です。



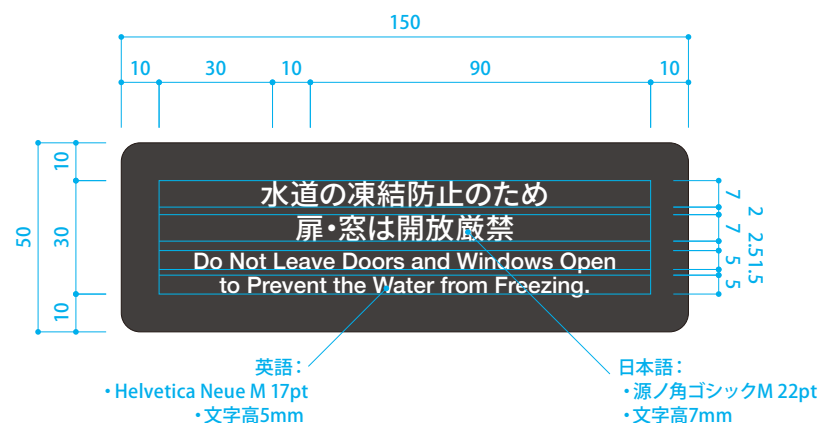
scale=1/30

■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

● [シールタイプ] 標準表示例



● [シールタイプ] 標準表示例（文字のみの場合）



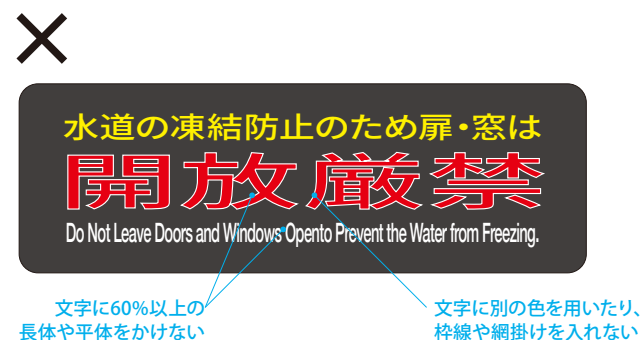
scale=1/2

■ 表示ベース：19-30A
□ 表示：白（指定なし）

× NG例



× NG例



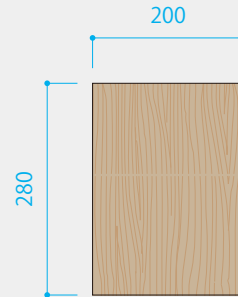
コラム——簡易表示板の作り方

簡易表示板を自作する方法を紹介します。専門の業者に依頼せず、ホームセンターなどで材料を揃えて作ることで、金額や時間を抑えられる場合があります。あらかじめ何枚かまとめて作った方がコストメリットが高く、一度作った表示板は塗りつぶすなどして繰り返し使うこともできます。

●用意するもの

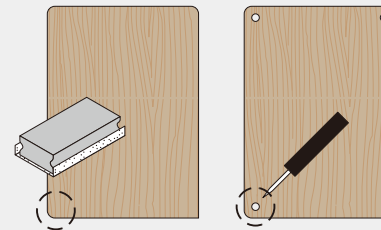
- ・ラワンベニア板（厚さ3～5mm程度。ホームセンターなどでカットしてもらう）
- ・ペンキ（ベース用：ダークグレー19-30A、文字用：白）
- ・表示する文字を印刷した紙（そのまま掲出するのではなく、転写用として使用）
- ・ハケ（ベース用）
- ・筆（文字用の細いもの）
- ・鉛筆（2B以上の濃いもの）
- ・その他の道具：キリ、紙やすり（#240）、ペンキを入れる容器、養生用新聞紙
- ・掲出用の紐（必要に応じて）

- ①事前にホームセンターでカットしたベニア板を用意します。



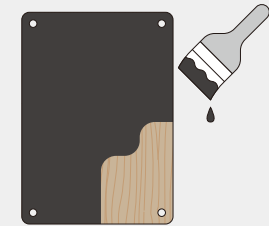
※サブロク（910×1820mm）の板であれば24枚切り出すことができます。

- ②ベニアの角やバリを#240程度の紙やすりで磨き、（必要に応じて）四隅に紐通し用の穴を開けます。



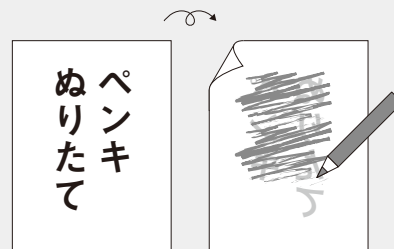
※触った際にささくれでケガをしない程度にやすりがけします。

- ③ダークグレー色で、裏面、小口、穴の中も含め全面を塗装し、乾燥させます。



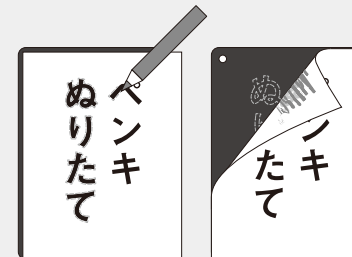
※含浸系でも木目を潰す塗料でも可です。
※周りが汚れないよう、養生してください。

- ④表示する文字をプリンターで印刷した紙を用意し、紙の裏から文字の部分を鉛筆で塗りつぶします。



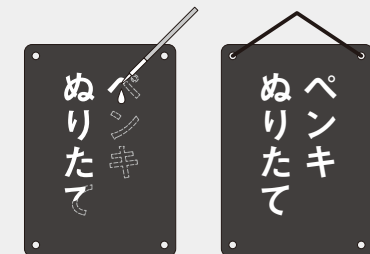
※直接手書きすることもできますが、転写により見やすいゴシック体の表示ができます。
※あまり細かい文字は表示できません。

- ⑤紙と塗装した板を重ね、紙の表から文字の外形をなぞり、文字を板に転写します。



※文字は髪が破れない程度に強くなぞります。

- ⑤転写した文字を白いペンキで塗ったら完成です。紐を通すなどして掲出します。



※不要になった看板は塗り直すことで、板は使い回すことができます。

さいごに

看板の情報は一部を除き、全来訪者が必ず見なくてはいけないものではありません。あらゆる広告や注意を全ての人に知らせようとすると、文字が大きくなり、色が派手になり、数も多くなるため、自然を感じづらくなったり、写真に看板が写ったり、大事な情報が埋もれてしまったりすることになります。

例えば道に迷っている人や、エリアについてもっと詳しく知りたい人など、ナビゲーションを求めている人が「見つけられる」くらいの、適度な配置や見え方とすることで、自然景観を阻害することなく、来訪者に自信を持って行動してもらうことができると思います。

本書の表示例を参考に、赤城山エリアの看板が、適切なボリュームで来訪者に語りかけられるようなものとなるよう願っています。

赤城山景観ガイドライン 別冊 標準看板編

令和8年度(2026年度)

赤城山デザイン協議会

群馬県 環境森林部 自然環境課 (TEL:027-226-2876)

住所:群馬県前橋市大手町1-1-1

前橋市 都市計画部 都市計画課 (TEL:027-898-6974)

前橋市 産業経済部 観光政策課 (TEL:027-257-0674)

住所:群馬県前橋市大手町2-12-1